

知多北部広域連合 健康とくらしの調査報告書 結果概要

令和8年5月

健康とくらしの調査実施概要

1 調査の目的

知多北部広域連合の第10期介護保険事業計画（計画期間：令和9年度～令和11年度）を策定する上での基礎資料とするため、高齢者の生活実態や高齢者福祉サービスの利用状況、今後の意向等を把握することを目的にアンケート調査を実施しました。

2 調査対象

知多北部広域連合管内にお住まいの、要介護認定を受けていない65歳以上である高齢者から無作為抽出（要支援認定を含む）
（東海市、大府市、知多市、東浦町）

3 調査方法

郵送法

5 調査期間

発送：令和7年11月17日～令和7年12月8日

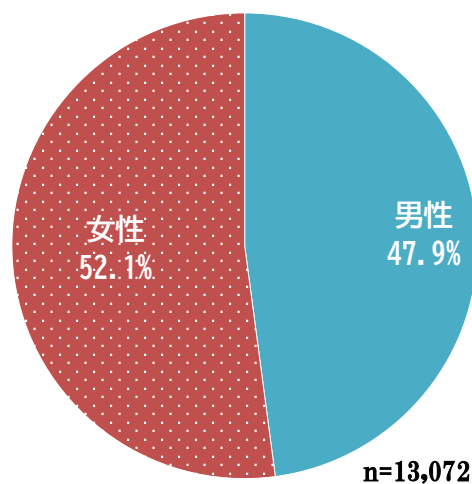
6 回収結果

	配布数	回収数	回収率	有効回答数
東海市	5,587人	4,090件	73.2%	4,049件
大府市	4,717人	3,439件	72.9%	3,424件
知多市	4,970人	3,689件	74.2%	3,666件
東浦町	2,726人	1,938件	71.1%	1,933件
知多北部広域連合	18,000人	13,156件	73.1%	13,072件

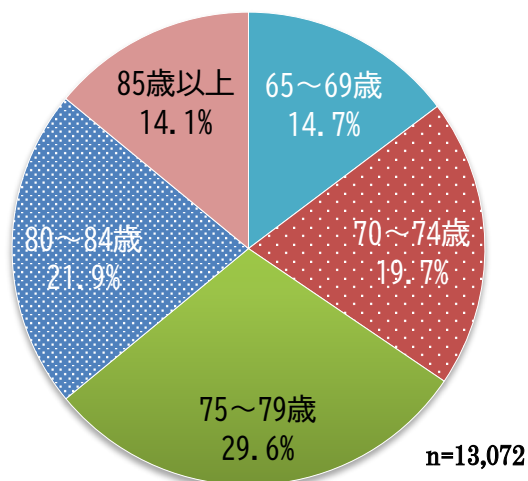
回答者の個人属性 (性別・年代別・自治体別)

知多北部広域連合全体

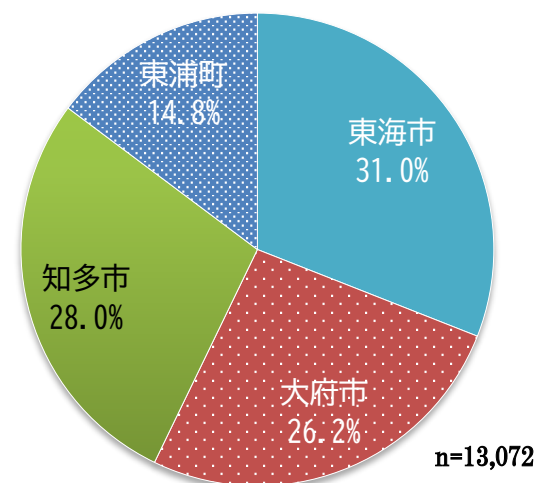
性別



年代別



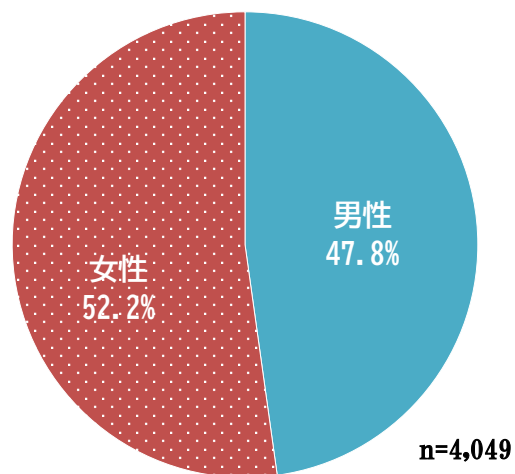
自治体別



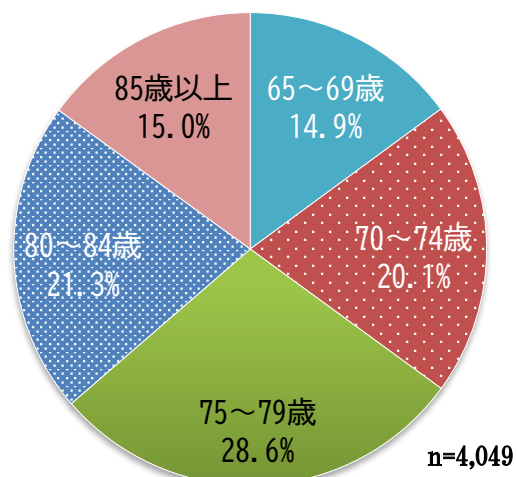
回答者の個人属性 (性別・年代別・圏域別)

東海市

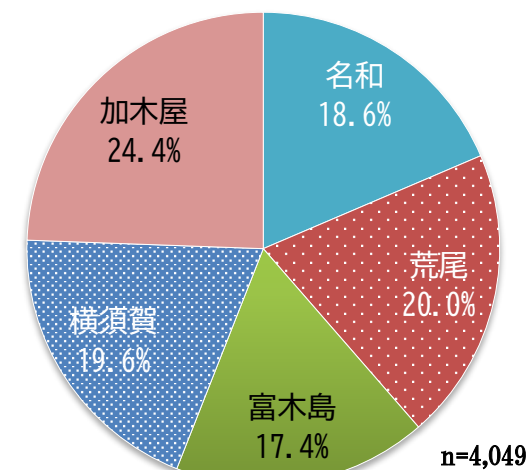
性別



年代別



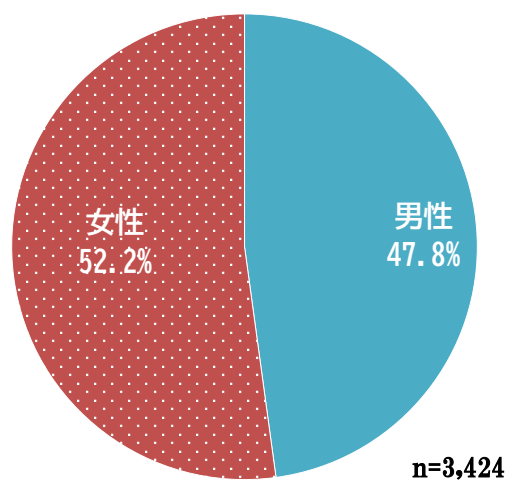
圏域別



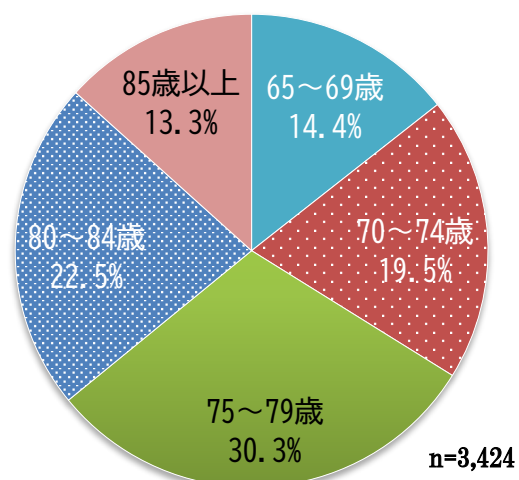
回答者の個人属性 (性別・年代別・圏域別)

大府市

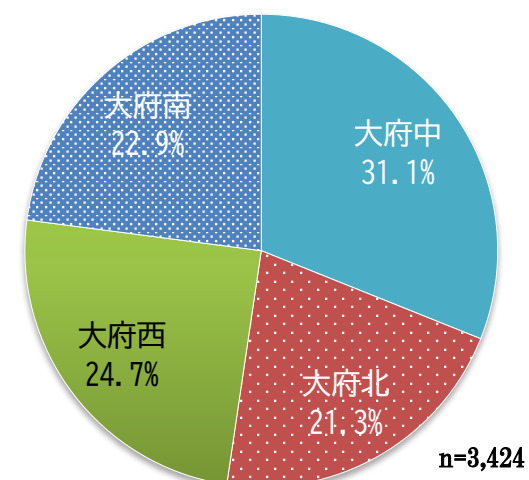
性 別



年代別



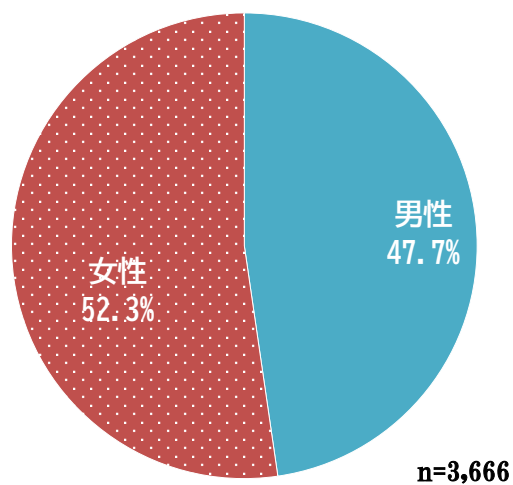
圏域別



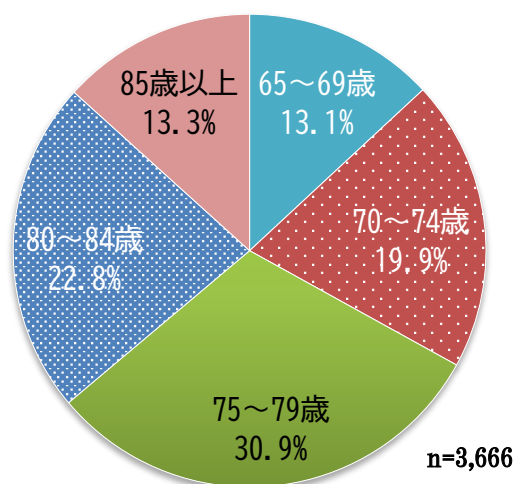
回答者の個人属性 (性別・年代別・圏域別)

知多市

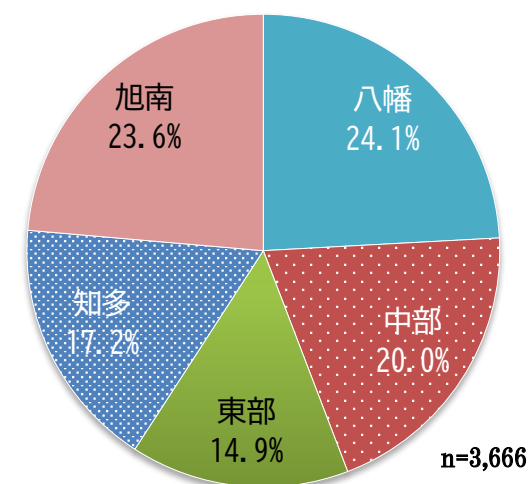
性別



年代別



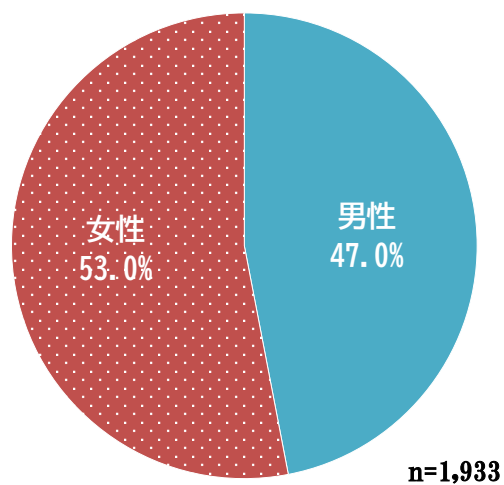
圏域別



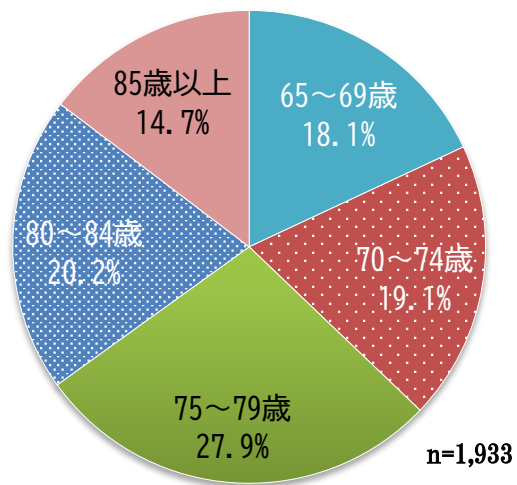
回答者の個人属性（性別・年代別・圏域別）

東浦町

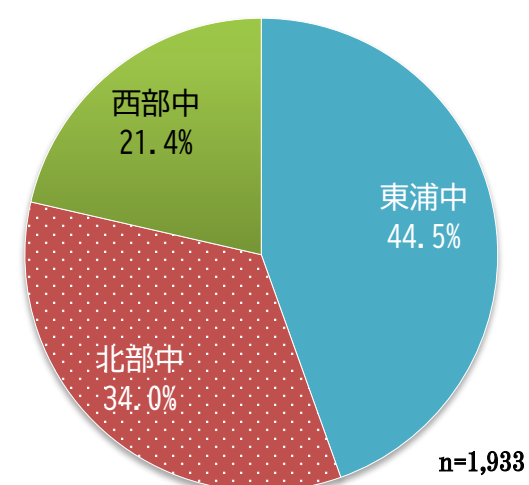
性別



年代別

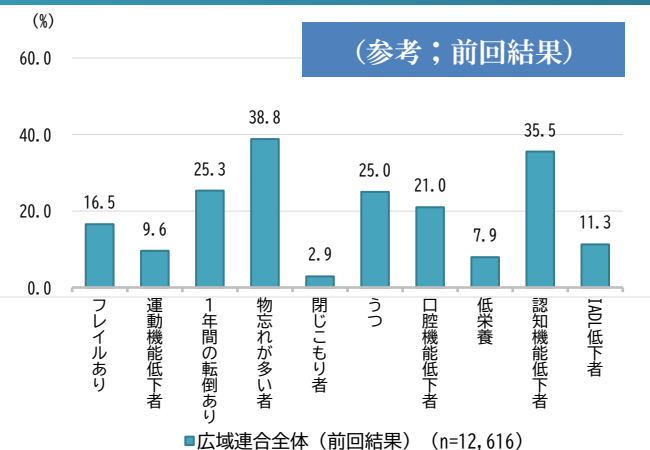
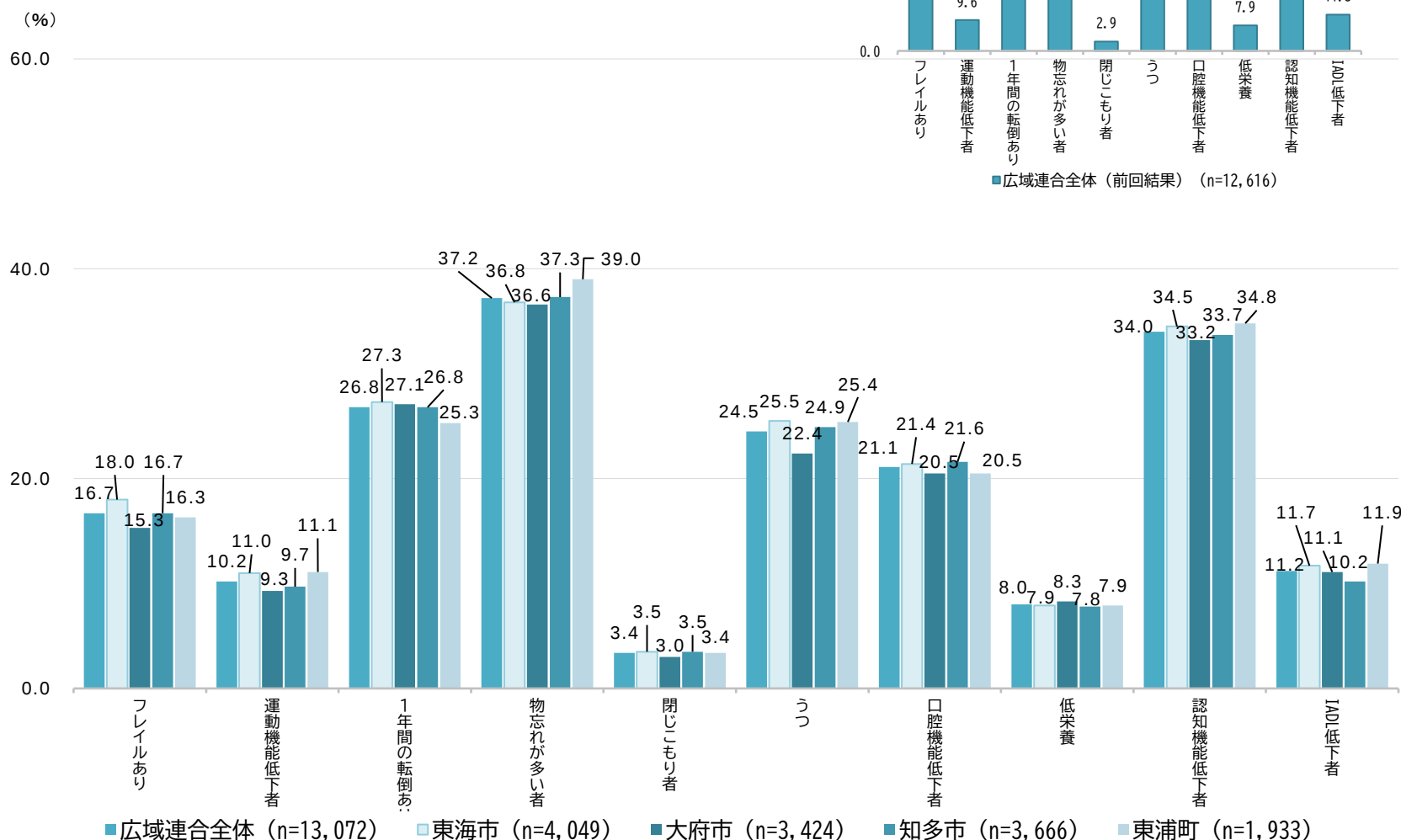


圏域別



要介護リスクの状況

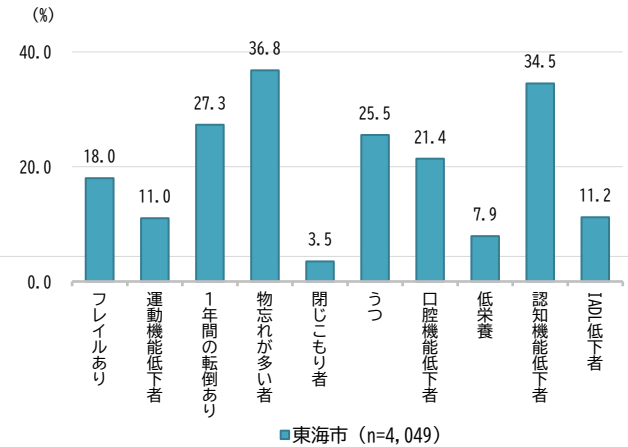
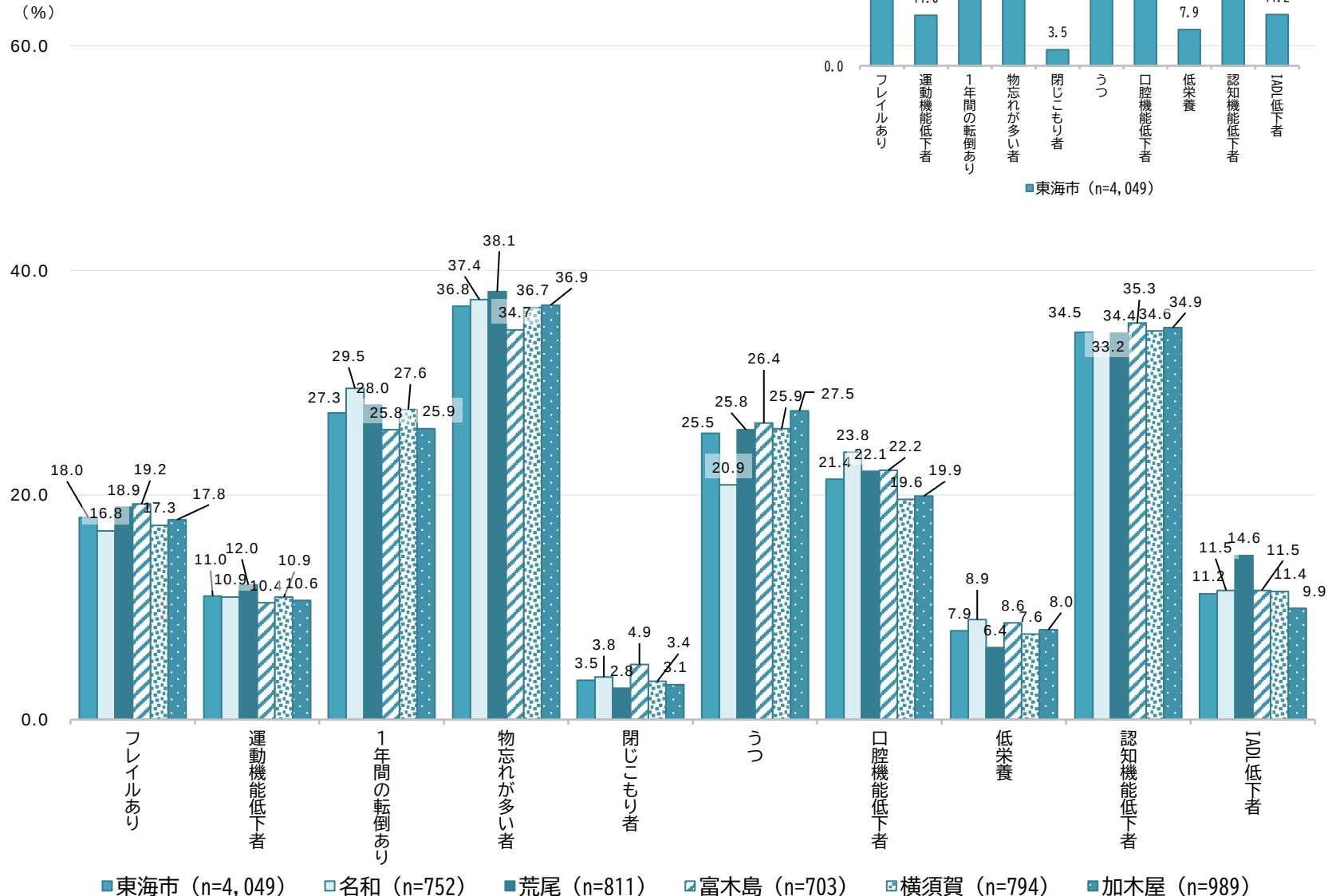
全体・自治体別



- 要介護リスクの状況は、知多北部広域連合全体では、「物忘れが多い者」が37.2%、「認知機能低下者」が34.0%、「1年間の転倒あり」が26.8%、「うつ」が24.5%、「口腔機能低下者」が21.1%、「フレイルあり」が16.7%、「IADL低下者」が11.2%「運動機能低下者」が10.2%、「低栄養」が8.0%、「閉じこもり者」が3.4%の順となっている。
- 前回の調査と比較してみると、「物忘れが多い者」の割合は、第9期の指標から、1.6ポイント減少している。
- 東海市では、「フレイルあり」「運動機能低下者」「1年間の転倒あり」「閉じこもり者」「うつ」「口腔機能低下者」「認知機能低下者」「IADL低下者」の割合が広域連合全体よりも高くなっている。
- 大府市では、「1年間の転倒あり」「低栄養」「」の割合が広域連合全体よりも高くなっている。
- 知多市では、「物忘れが多い者」「閉じこもり者」「うつ」「口腔機能低下者」の割合が広域連合全体よりも高くなっている。
- 東浦町では、「運動機能低下者」「物忘れが多い者」「うつ」「認知機能低下者」「IADL低下者」の割合が広域連合全体よりも高くなっている。

要介護リスクの状況(東海市)

東海市・日常生活圏域別



□ 東海市の要介護リスクの状況は、高い順に「物忘れが多い者」が36.8%、「認知機能低下者」が34.5%、「1年間の転倒あり」が27.3%、「うつ」が25.5%、「口腔機能低下者」が21.4%、「フレイルあり」が18.0%、「IADL低下者」が11.2%、「運動機能低下者」が11.0%、「低栄養」が7.9%、「閉じこもり者」が3.5%となっている。

□ 「物忘れが多い者」を圏域別にみると、荒尾が38.1%で最も高くなっており、最も低い富木島（34.7%）と比較して3.4ポイントの差がある。

□ 「認知機能低下者」を圏域別にみると、富木島が35.3%で最も高くなっており、最も低い名和（33.2%）と比較して2.1ポイントの差がある。

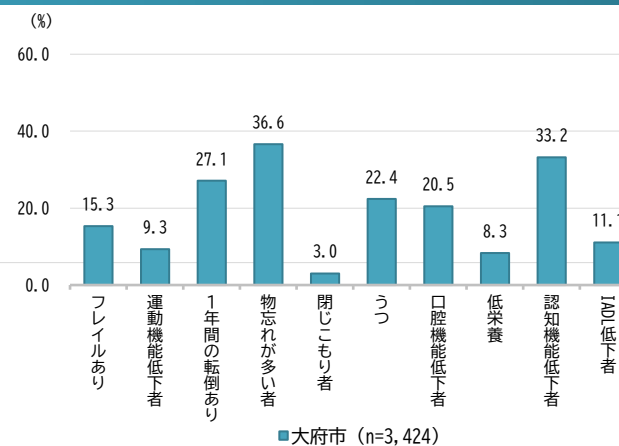
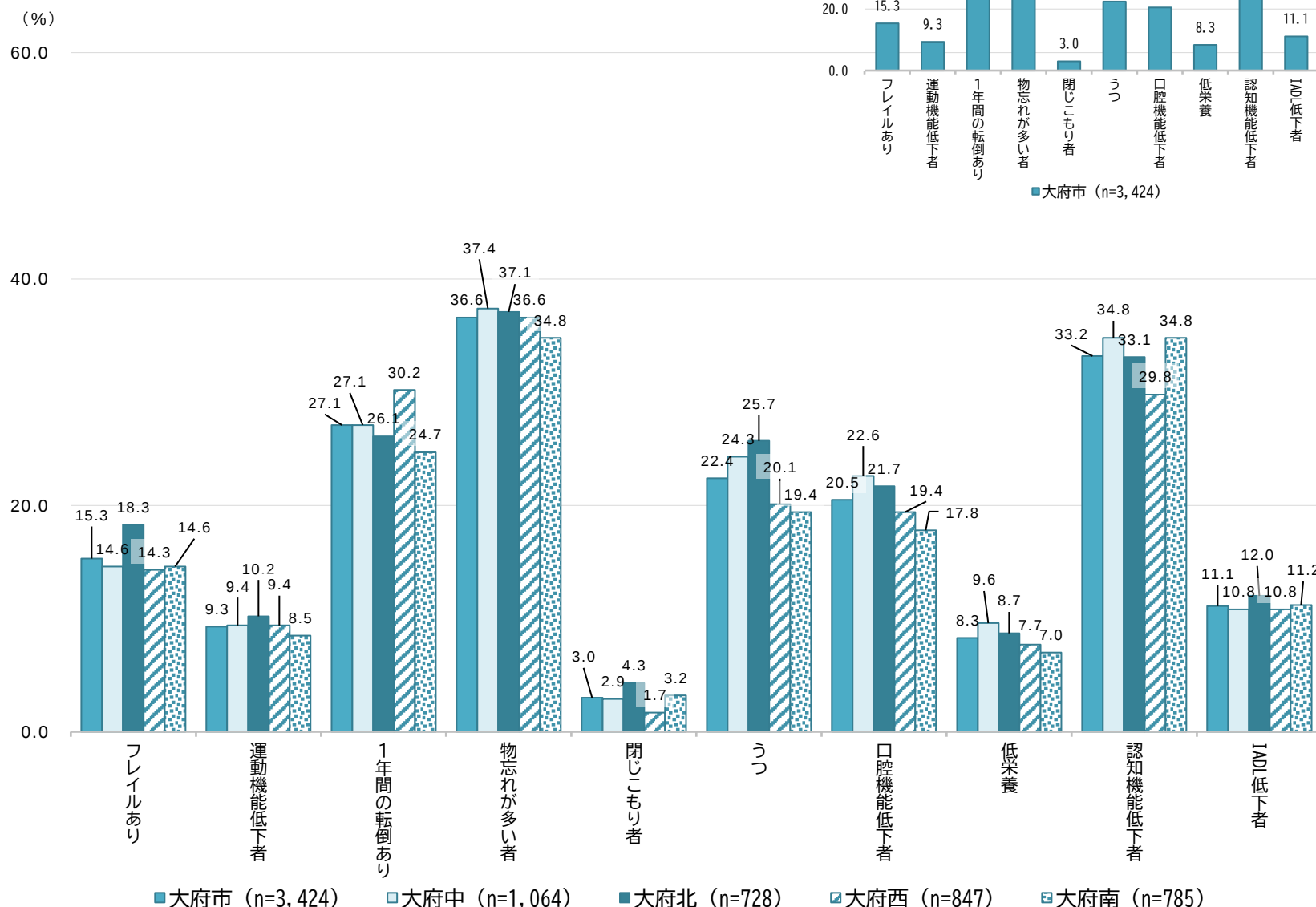
□ 「うつ」を圏域別にみると、加木屋が27.5%で最も高くなっており、最も低い名和（20.9%）と比較して6.6ポイントの差がある。

□ 「フレイルあり」について、東海市では前回調査結果が18.3%であり、今回調査（18.0%）は前回より0.3ポイント下回っている。

□ 「フレイルあり」を圏域別にみると、富木島が19.2%で最も高くなっており、最も低い名和（16.8%）と比較して2.4ポイントの差がある。

要介護リスクの状況(大府市)

大府市・日常生活圏域別



□ 大府市の要介護リスクの状況は、高い順に「物忘れが多い者」が36.6%、「認知機能低下者」が33.2%、「1年間の転倒あり」が27.1%、「うつ」が22.4%、「口腔機能低下者」が20.5%、「フレイルあり」が15.3%、「IADL低下者」が11.1%、「運動機能低下者」が9.3%、「低栄養」が8.3%、「閉じこもり者」が3.0%となっている。

□ 「物忘れが多い者」を圏域別にみると、大府中が37.4%で最も高くなっており、最も低い大府南（34.8%）と比較して2.6ポイントの差がある。

□ 「認知機能低下者」を圏域別にみると、大府中と大府南がともに34.8%で最も高くなっており、最も低い大府西（29.8%）と比較して5.0ポイントの差がある。

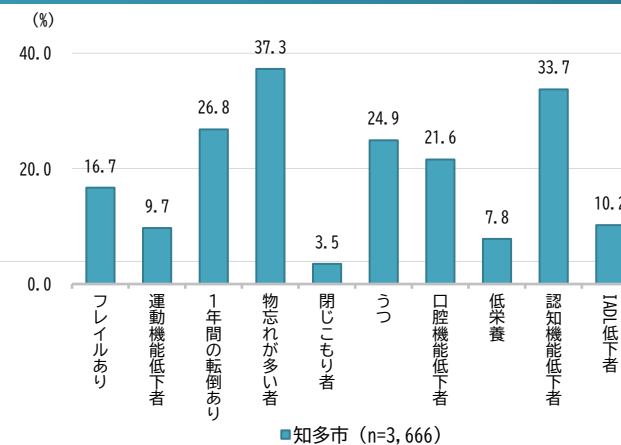
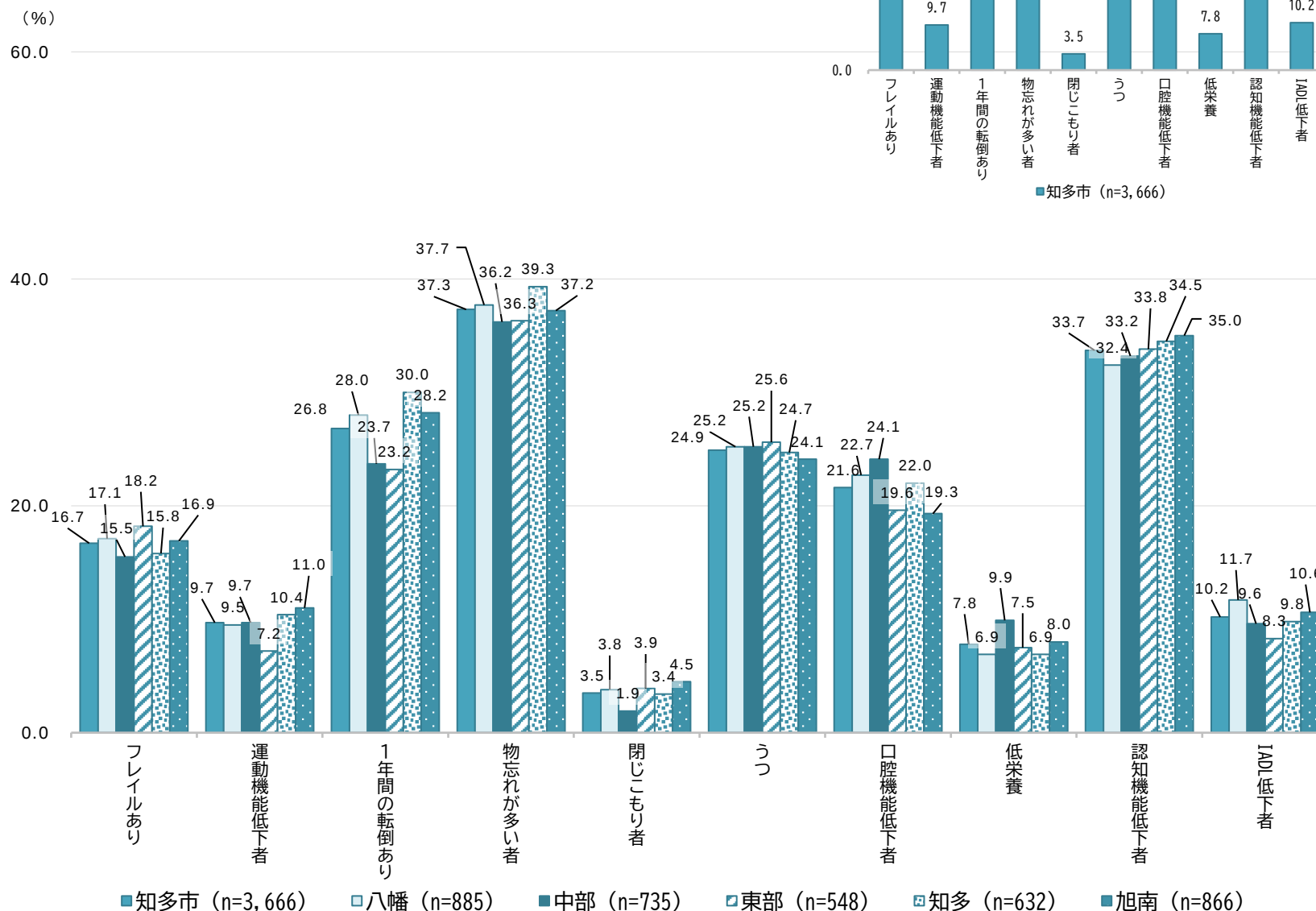
□ 「1年間の転倒あり」を圏域別にみると、大府西が30.2%で最も高くなっており、最も低い大府南（24.7%）と比較して5.5ポイントの差がある。

□ 「フレイルあり」について、大府市では前回調査結果が15.0%であり、今回調査（15.3%）は前回より0.3ポイント上回っている。

□ 「フレイルあり」を圏域別にみると、大府北が18.3%で最も高くなっており、最も低い大府西（14.3%）と比較して4.0ポイントの差がある。

要介護リスクの状況(知多市)

知多市・日常生活圏域別



□ 知多市の要介護リスクの状況は、高い順に「物忘れが多い者」が37.3%、「認知機能低下者」が33.7%、「1年間の転倒あり」が26.8%、「うつ」が24.9%、「口腔機能低下者」が21.6%、「フレイルあり」が16.7%、「IADL低下者」が10.2%、「運動機能低下者」が9.7%、「低栄養」が7.8%、「閉じこもり者」が3.5%となっている。

□ 「物忘れが多い者」を圏域別にみると、知多が39.3%で最も高くなっており、最も低い中部（36.2%）と比較して3.1ポイントの差がある。

□ 「認知機能低下者」を圏域別にみると、旭南が35.0%で最も高くなっており、最も低い八幡（32.4%）と比較して2.6ポイントの差がある。

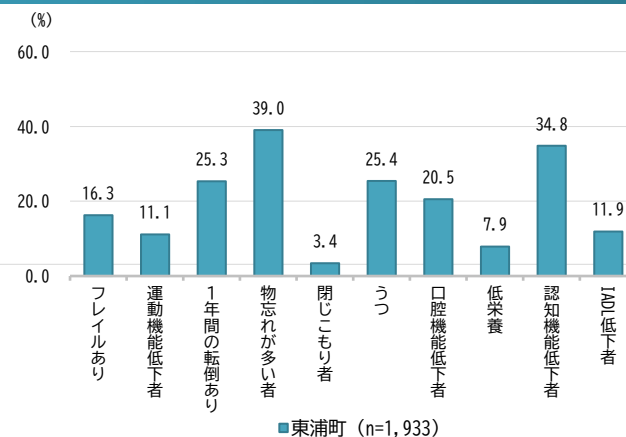
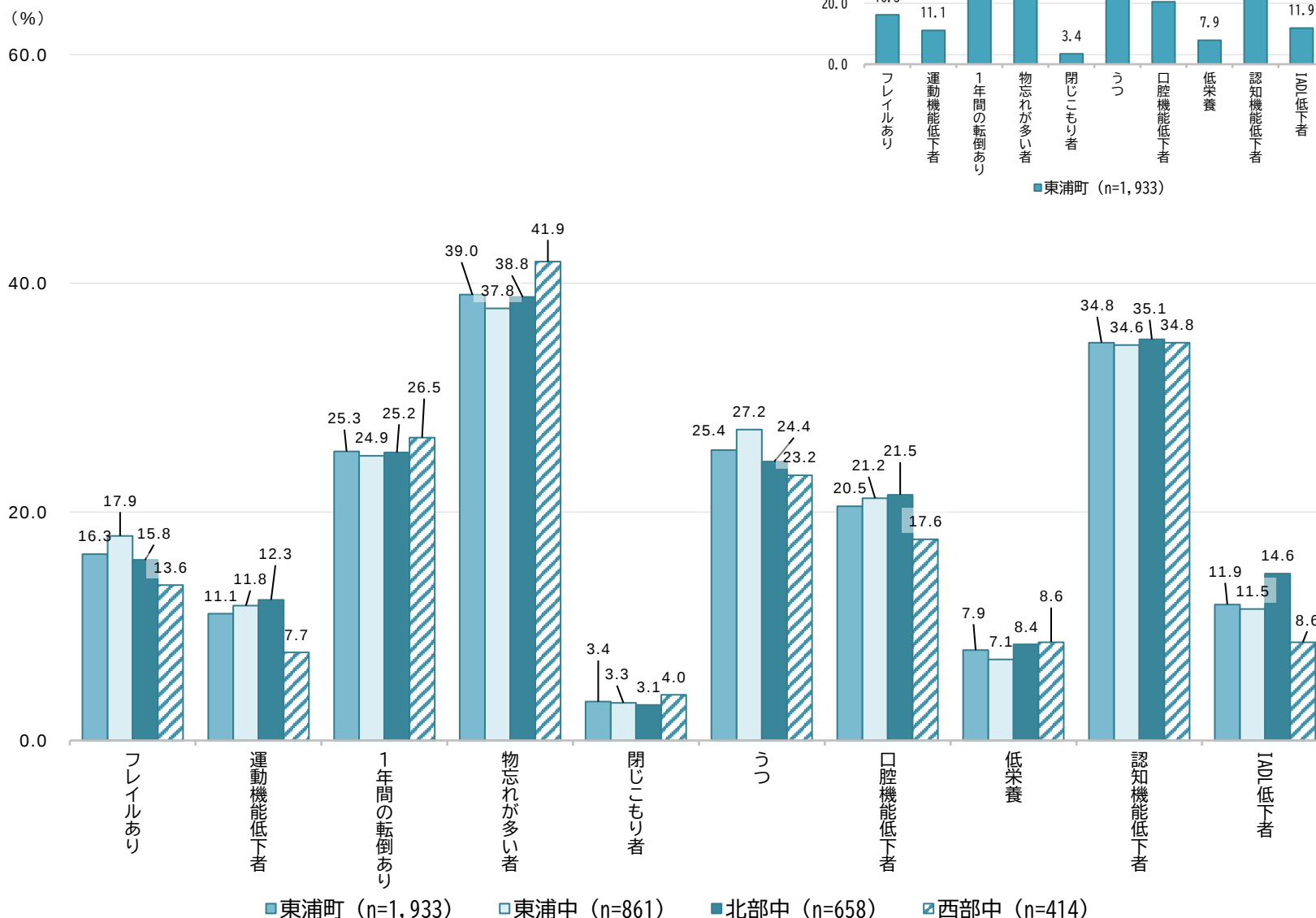
□ 「1年間の転倒あり」を圏域別にみると、知多が30.0%で最も高くなっており、最も低い東部（23.2%）と比較して6.8ポイントの差がある。

□ 「フレイルあり」について、知多市では前回調査結果が16.3%であり、今回調査（16.7%）は前回より0.4ポイント上回っている。

□ 「フレイルあり」を圏域別にみると、東部が18.2%で最も高くなっており、最も低い中部（15.5%）と比較して2.7ポイントの差がある。

要介護リスクの状況(東浦町)

東浦町・日常生活圏域別



□ 東浦町の要介護リスクの状況は、高い順に「物忘れが多い者」が39.0%、「認知機能低下者」が34.8%、「うつ」が25.4%、「1年間の転倒あり」が25.3%、「口腔機能低下者」が20.5%、「フレイルあり」が16.3%、「IADL低下者」が11.9%、「運動機能低下者」が11.1%、「低栄養」が7.9%、「閉じこもり者」が3.4%となっている。

□ 「物忘れが多い者」を圏域別にみると、西部中が41.9%で最も高くなっており、最も低い東浦中（37.8%）と比較して4.1ポイントの差がある。

□ 「認知機能低下者」を圏域別にみると、北部中が35.1%で最も高くなっており、最も低い東浦中（34.6%）と比較して0.5ポイントの差がある。

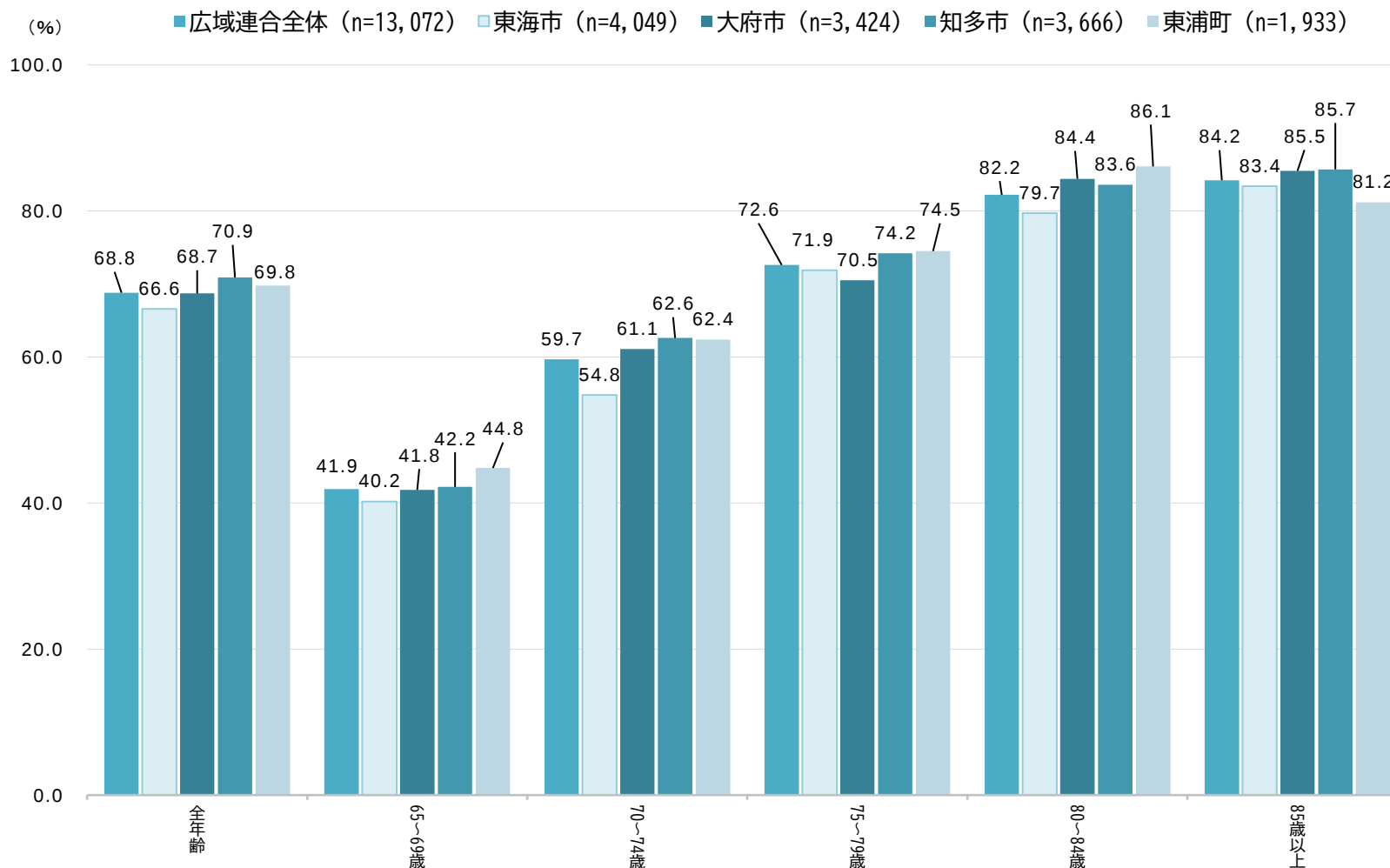
□ 「1年間の転倒あり」を圏域別にみると、西部中が26.5%で最も高くなっており、最も低い東浦中（24.9%）と比較して1.6ポイントの差がある。

□ 「フレイルあり」について、東浦町では前回調査結果が16.0%であり、今回調査（16.3%）は前回より0.3ポイント上回っている。

□ 「フレイルあり」を圏域別にみると、東浦中が17.9%で最も高くなっており、最も低い西部中（13.6%）と比較して4.3ポイントの差がある。

就労の状況(就労をしていない者の割合)

年齢別・自治体別



□ 就労をしていない者の割合について、全体では68.8%となっている。

□ 年齢別にみると、65～69歳では41.9%と4割程度だが、80～84歳(82.2%)や85歳以上(84.2%)では8割以上となっている。

□ 東海市では、広域連合全体と比較して「80～84歳」でやや低く、「70～74歳」で低くなっている。

□ 大府市では、広域連合全体と比較して「75～79歳」でやや低くなっている。

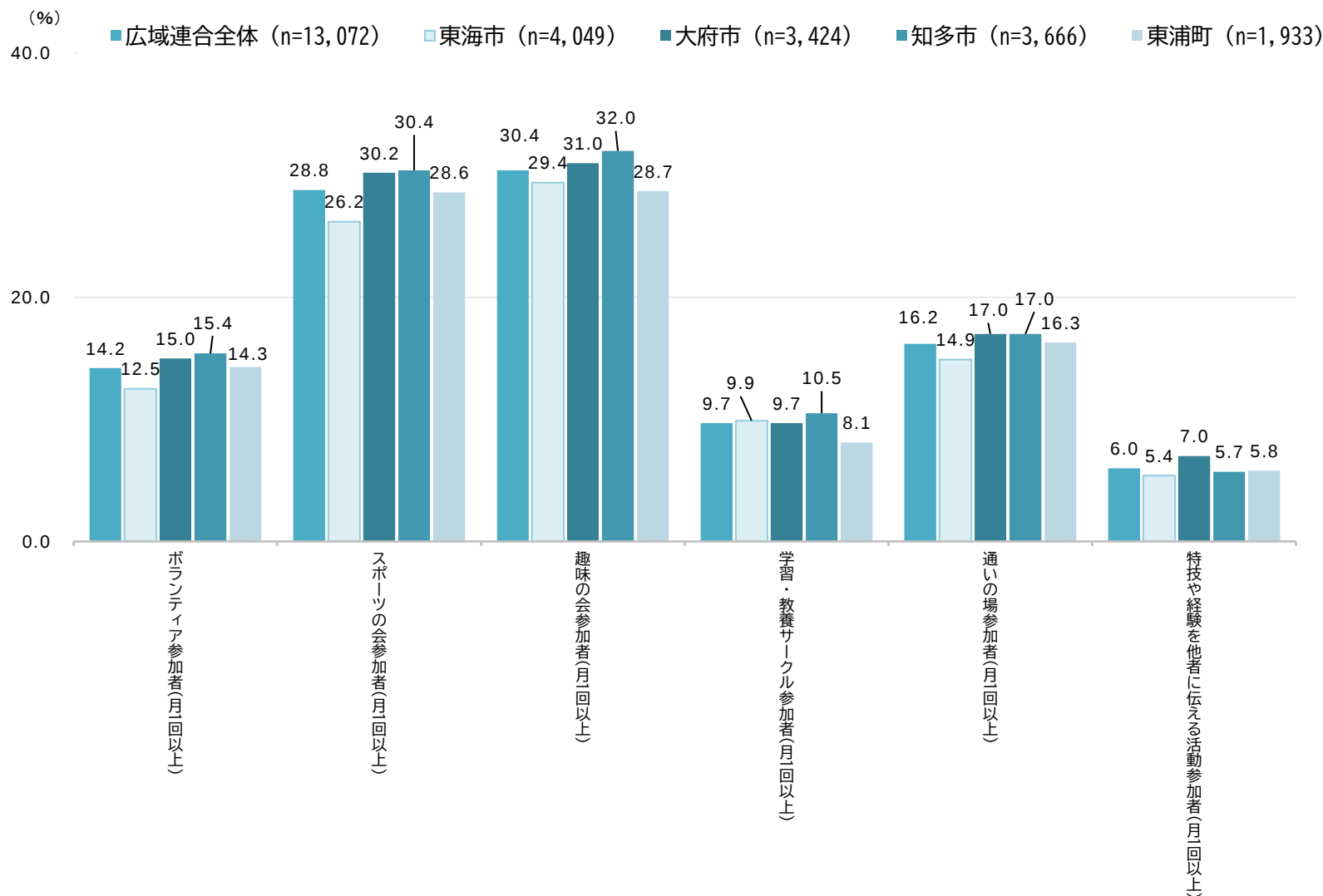
□ 知多市では、広域連合全体と比較して「70～74歳」でやや高くなっている。

□ 東浦町では、広域連合と比較して「65～69歳」、「70～74歳」、「80～84歳」でやや高い。「85歳以上」でやや低くなっている。

社会参加の状況

(比較:計画書P63 通いの場参加者(月1回以上))

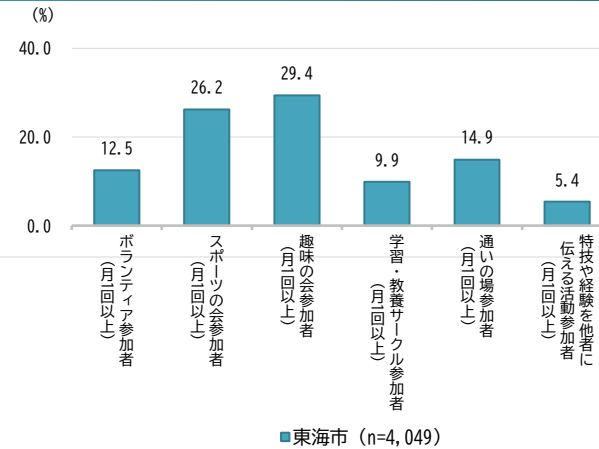
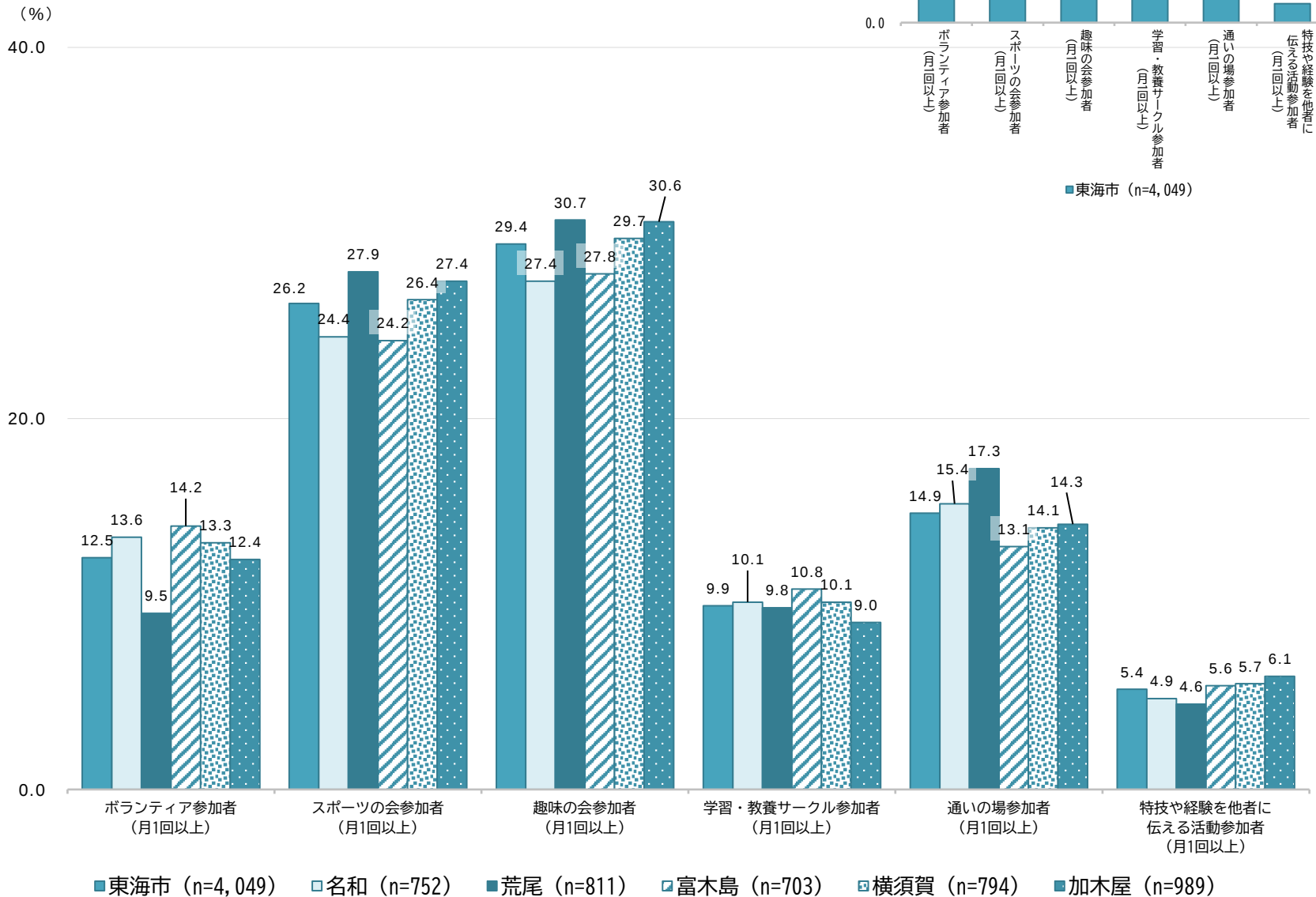
全体・自治体別



- 社会参加の状況は、知多北部広域連合全体では、「趣味の会参加者」が30.4%、「スポーツの会参加者」が28.8%、「通いの場参加者」が16.2%、「ボランティア参加者」が14.2%、「学習・教育サークル参加者」が9.7%、「特技や経験を他者に伝える活動参加者」が6.0%の順となっている。
- 計画書の指標との比較では、「通いの場参加者」の割合は、第9期の目標値(17.9%)よりも、1.7ポイント下回っている。
- 東海市では、「学習・教養サークル参加者」の割合が広域連合全体よりも高くなっている。
- 大府市では、「ボランティア参加者」「スポーツの会参加者」「趣味の会参加者」「通いの場参加者」「特技や経験を他者に伝える活動参加者」の割合が広域連合全体よりも高くなっている。
- 知多市では、「ボランティア参加者」「スポーツの会参加者」「趣味の会参加者」「学習・教養サークル参加者」「通いの場参加者」の割合が広域連合全体よりも高くなっている。
- 東浦町では、「ボランティア参加者」「通いの場参加者」の割合が広域連合全体よりも高くなっている。

社会参加の状況(東海市)

東海市・日常生活圏域別



□ 東海市の社会参加の状況は、高い順に「趣味の会参加者」が29.4%、「スポーツの会参加者」が26.2%、「通いの場参加者」が14.9%、「ボランティア参加者」が12.5%、「学習・教育サークル参加者」が9.9%、「特技や経験を他者に伝える活動参加者」が5.4%となっている。

□ 「趣味の会参加者」を圏域別にみると、荒尾が30.7%で最も高くなっており、最も低い名和（27.4%）と比較して3.3ポイントの差がある。

□ 「スポーツの会参加者」を圏域別にみると、荒尾が27.9%で最も高くなっており、最も低い富木島（24.2%）と比較して3.7ポイントの差がある。

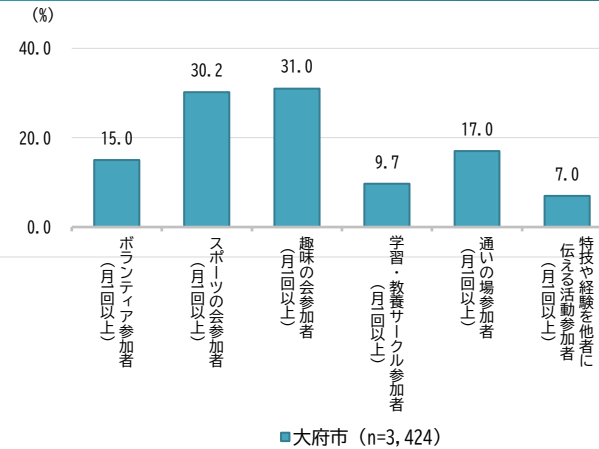
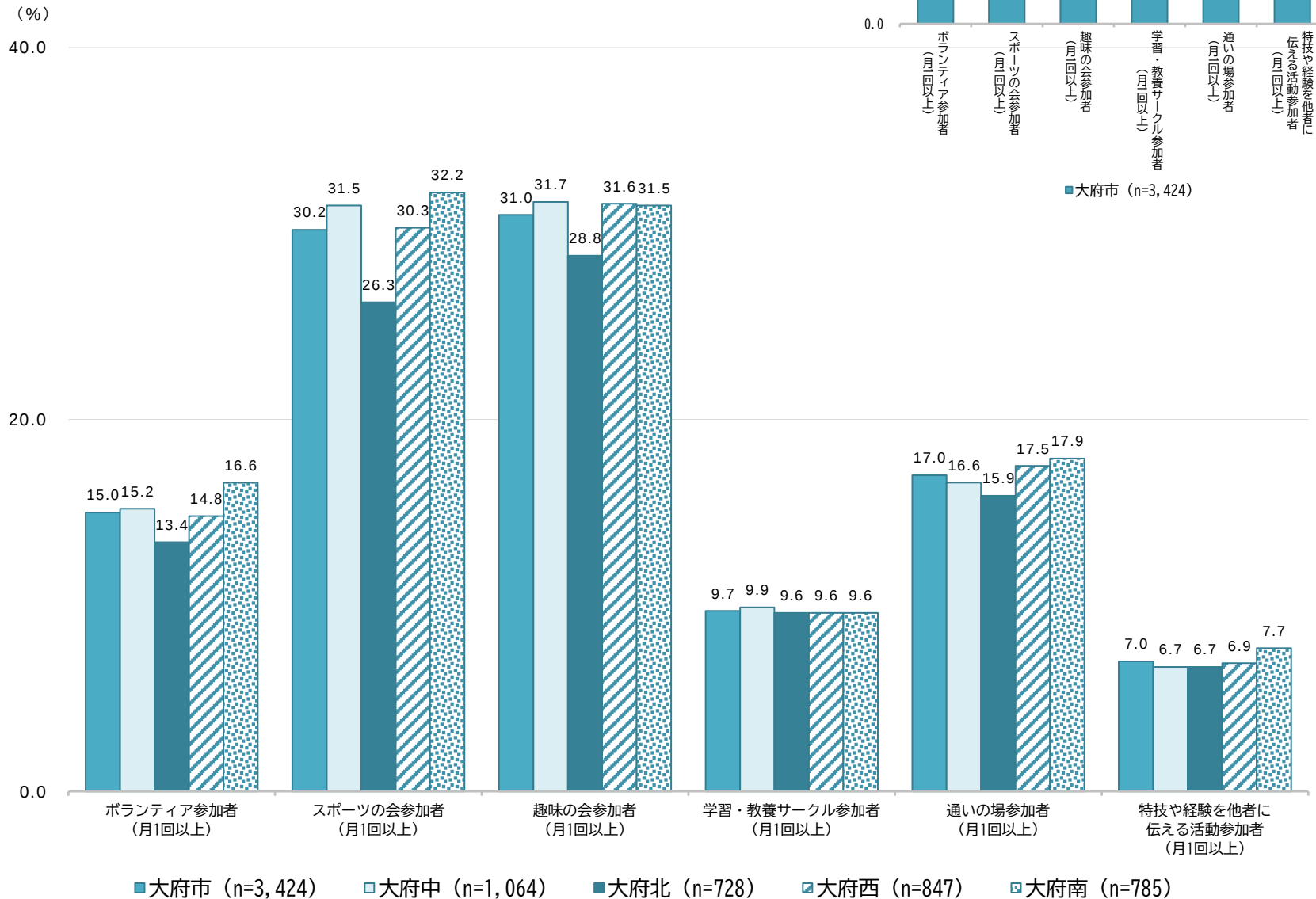
□ 「通いの場参加者」を圏域別にみると、荒尾が17.3%で最も高くなっており、最も低い富木島（13.1%）と比較して4.2ポイントの差がある。

□ 「通いの場参加者」について、東海市では前回調査結果が12.9%であり、今回調査（12.5%）は前回より0.4ポイント下回っている。

□ 「ボランティア参加者」を圏域別にみると、富木島が14.2%で最も高くなっており、最も低い荒尾（9.5%）と比較して4.7ポイントの差がある。

社会参加の状況(大府市)

大府市・日常生活圏域別



□ 大府市の社会参加の状況は、高い順に「趣味の会参加者」が31.0%、「スポーツの会参加者」が30.2%、「通いの場参加者」が17.0%、「ボランティア参加者」が15.0%、「学習・教育サークル参加者」が9.7%、「特技や経験を他者に伝える活動参加者」が7.2%となっている。

□ 「趣味の会参加者」を圏域別にみると、大府中が31.7%で最も高くなっており、最も低い大府北（28.8%）と比較して2.9ポイントの差がある。

□ 「スポーツの会参加者」を圏域別にみると、大府南が32.2%で最も高くなっており、最も低い大府北（26.3%）と比較して5.9ポイントの差がある。

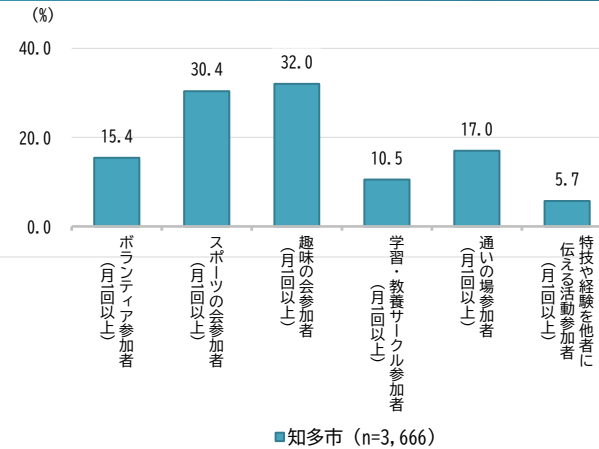
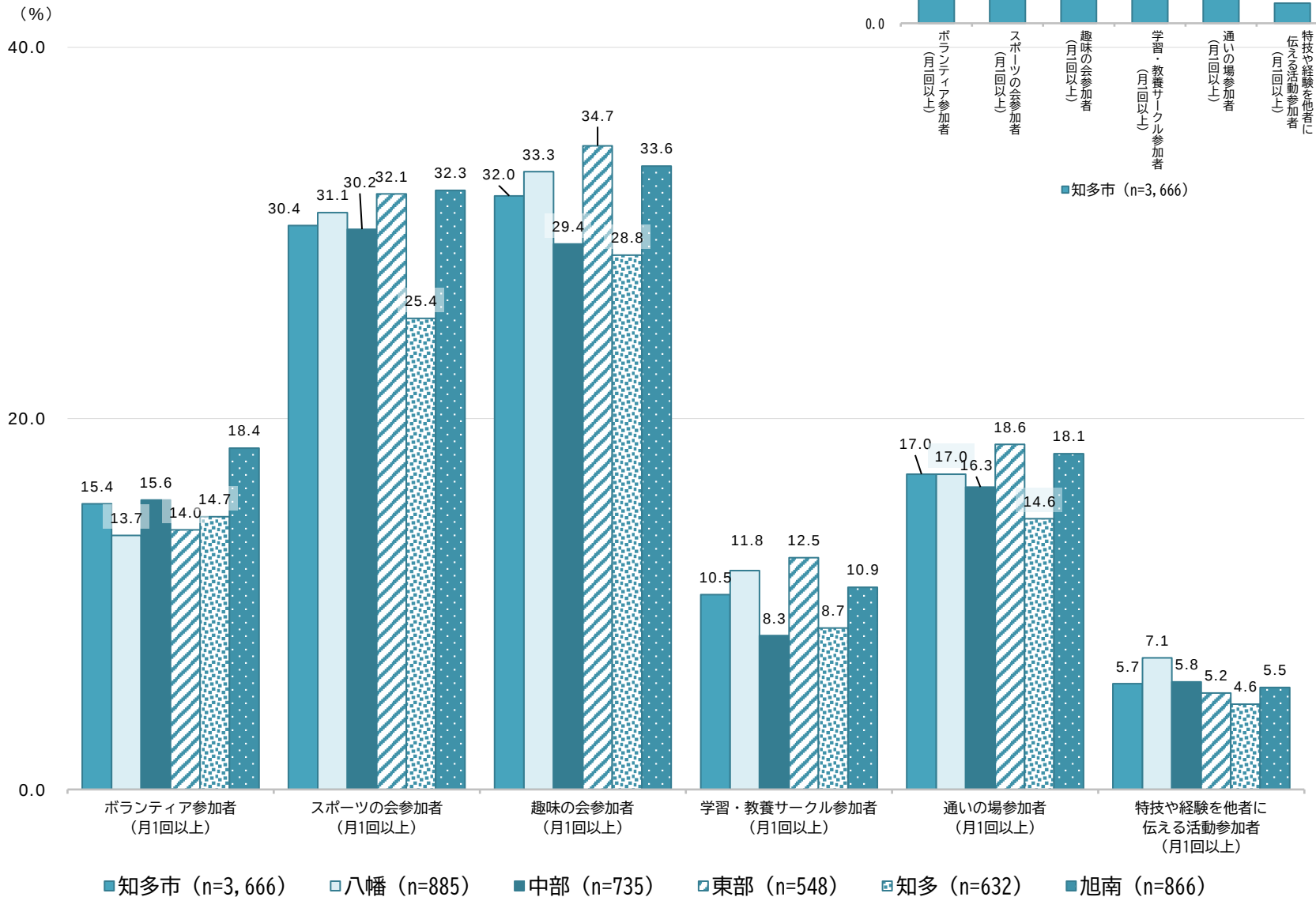
□ 「通いの場参加者」を圏域別にみると、大府南が17.9%で最も高くなっており、最も低い大府北（15.9%）と比較して2.0ポイントの差がある。

□ 「通いの場参加者」について、大府市では前回調査結果が16.0%であり、今回調査（15.5%）は前回より0.5ポイント下回っている。

□ 「ボランティア参加者」を圏域別にみると、大府南が16.6%で最も高くなっており、最も低い大府北（13.4%）と比較して3.2ポイントの差がある。

社会参加の状況(知多市)

知多市・日常生活圏域別



□ 知多市の社会参加の状況は、高い順に「趣味の会参加者」が32.0%、「スポーツの会参加者」が30.4%、「通いの場参加者」が17.0%、「ボランティア参加者」が15.4%、「学習・教育サークル参加者」が10.5%、「特技や経験を他者に伝える活動参加者」が5.7%となっている。

□ 「趣味の会参加者」を圏域別にみると、東部が34.7%で最も高くなっており、最も低い知多（28.8%）と比較して5.9ポイントの差がある。

□ 「スポーツの会参加者」を圏域別にみると、旭南が32.3%で最も高くなっており、最も低い知多（25.4%）と比較して6.9ポイントの差がある。

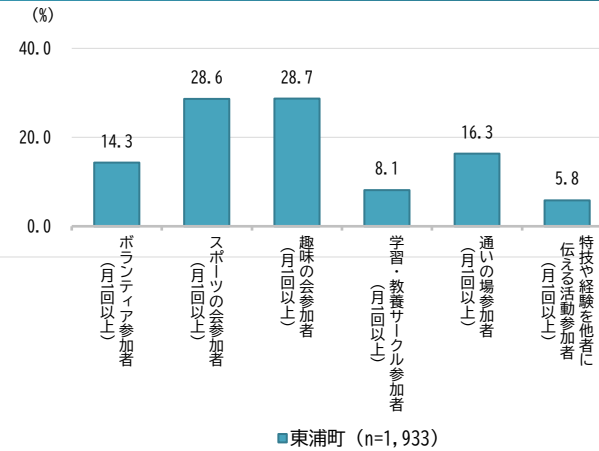
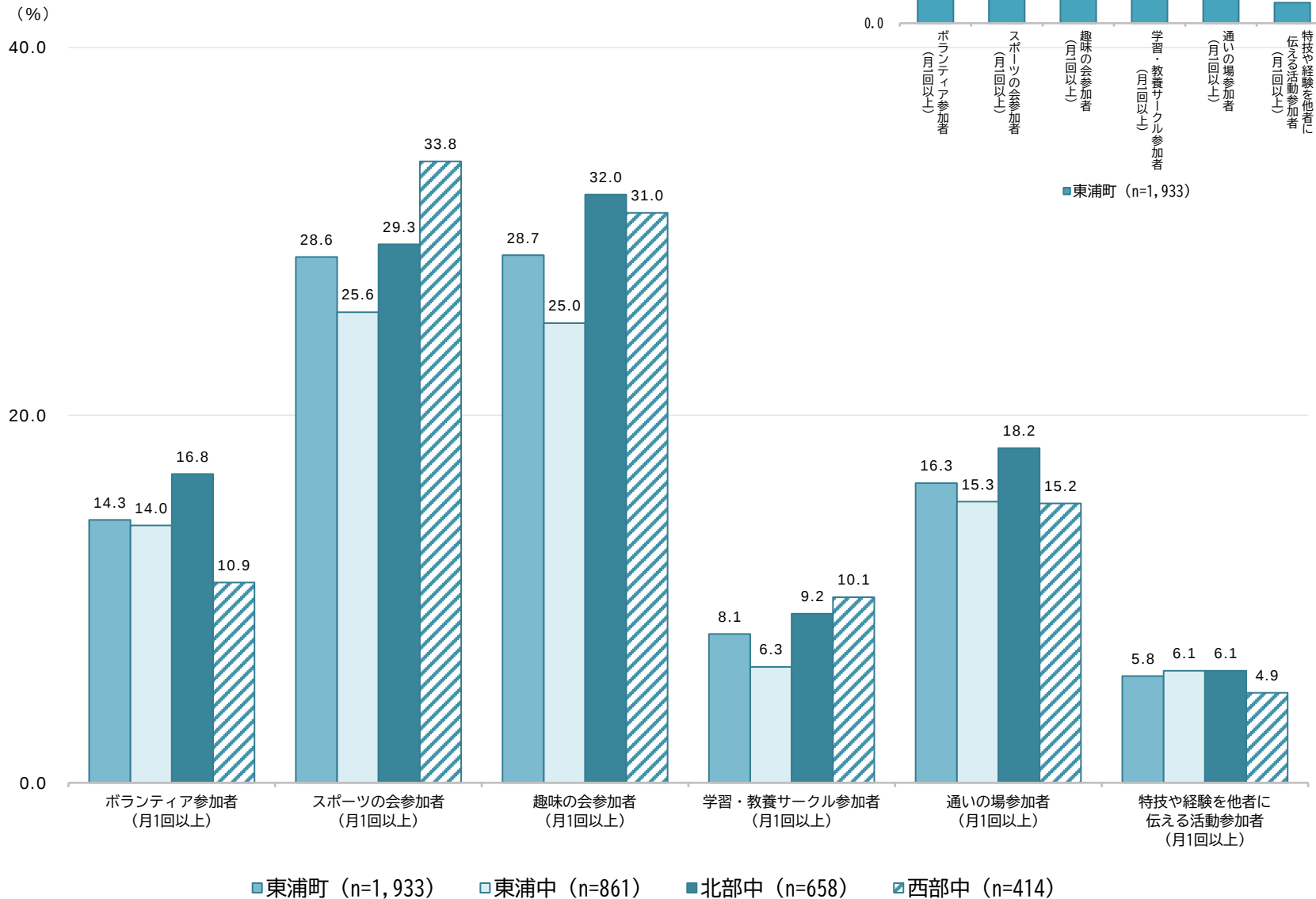
□ 「通いの場参加者」を圏域別にみると、東部が18.6%で最も高くなっており、最も低い知多（14.6%）と比較して4.0ポイントの差がある。

□ 「通いの場参加者」について、知多市では前回調査結果が14.4%であり、今回調査（15.4%）は前回より1.0ポイント上回っている。

□ 「ボランティア参加者」を圏域別にみると、旭南が18.4%で最も高くなっており、最も低い八幡（13.7%）と比較して4.7ポイントの差がある。

社会参加の状況(東浦町)

東浦町・日常生活圏域別



□ 東浦町の社会参加の状況は、高い順に「趣味の会参加者」が28.7%、「スポーツの会参加者」が28.6%、「通いの場参加者」が16.3%、「ボランティア参加者」が14.3%、「学習・教育サークル参加者」が8.1%、「特技や経験を他者に伝える活動参加者」が5.8%となっている。

□ 「趣味の会参加者」を圏域別にみると、北部中が32.0%で最も高くなっており、最も低い東浦中（25.0%）と比較して7.0ポイントの差がある。

□ 「スポーツの会参加者」を圏域別にみると、西部中が33.8%で最も高くなっており、最も低い東浦中（25.6%）と比較して8.2ポイントの差がある。

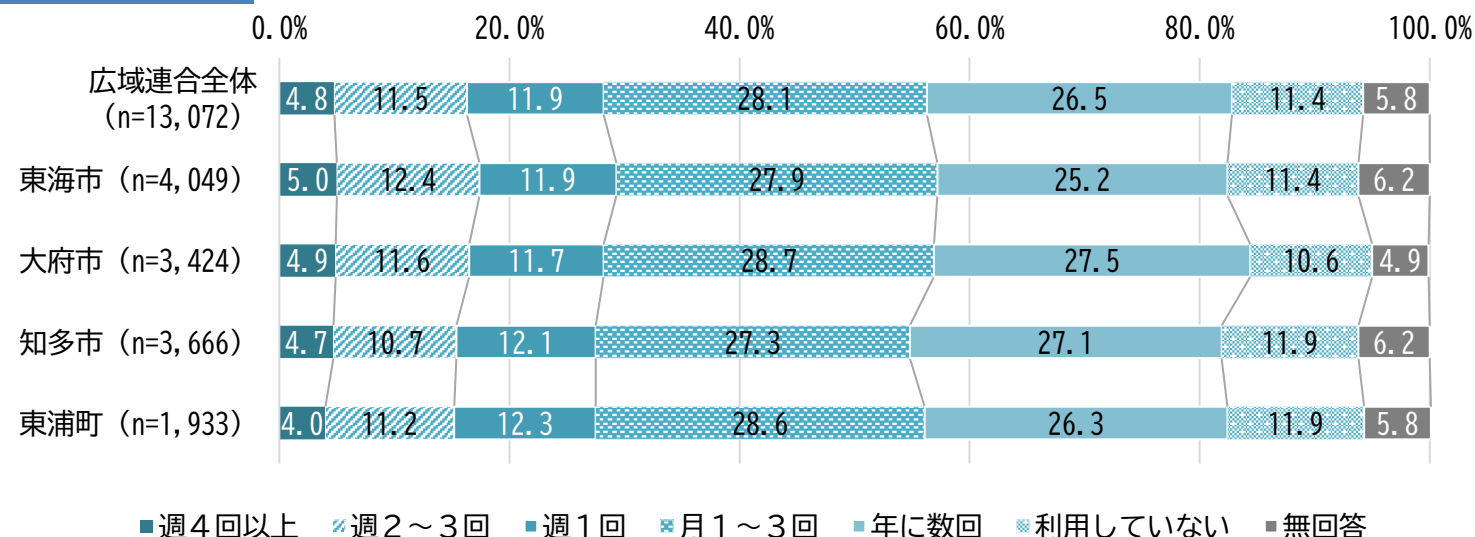
□ 「通いの場参加者」を圏域別にみると、北部中が18.2%で最も高くなっており、最も低い西部中（15.2%）と比較して3.0ポイントの差がある。

□ 「通いの場参加者」について、知多市では前回調査結果が14.3%であり、今回調査（14.3%）は前回から変化がない。

□ 「ボランティア参加者」を圏域別にみると、北部中が16.8%で最も高くなっており、最も低い西部中（10.9%）と比較して5.9ポイントの差がある。

よく利用する商店などについて [コンビニエンスストア]

利用頻度



□ コンビニエンスストアの利用頻度は、知多北部広域連合全体では、「週4回以上」は4.8%、「週2～3回」は11.5%、「週1回」は11.9%、「月1～3回」は28.1%、「年に数回」は26.5%、「利用していない」は11.4%となっている。

□ 自治体間で大きな差はみられないが、「月1～3回」と「年に数回」の利用頻度が高くなっている。

□ 移動手段は、知多北部広域連合全体では、「車（自分で運転）」（49.7%）、「徒歩」（34.8%）、「自転車」（7.2%）の順で高くなっている。

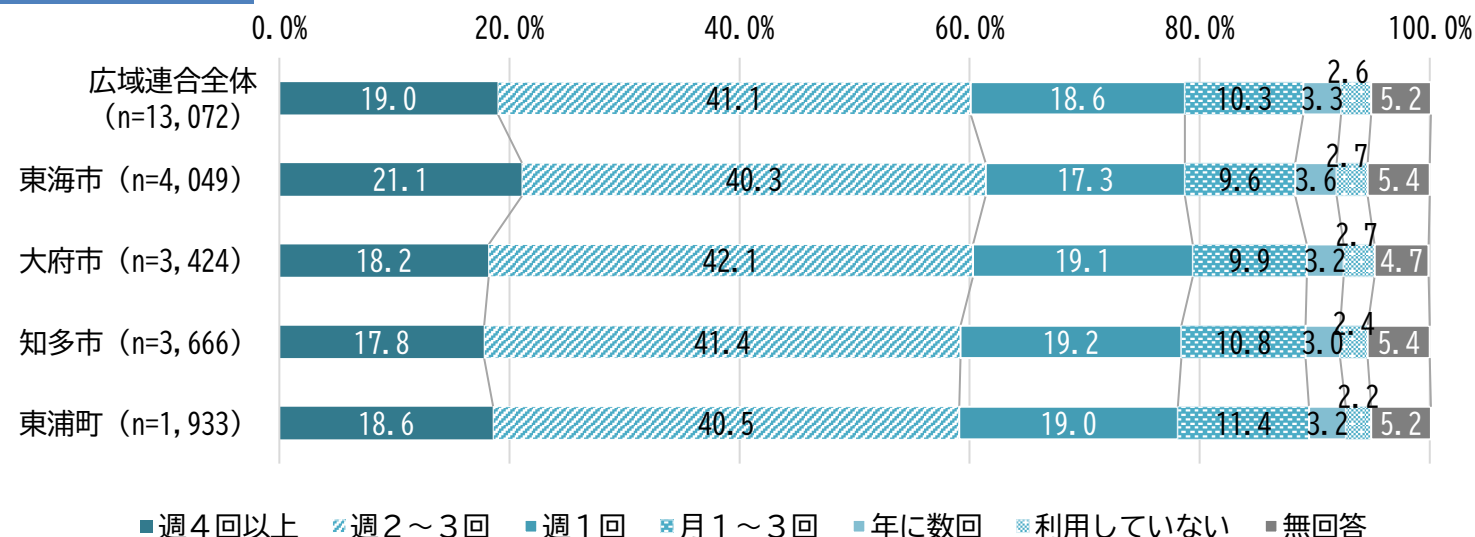
□ 自治体間で比較してみると、東海市では「徒歩」が高く、大府市、知多市、東浦町では「車（自分で運転）」が高くなっている。

移動手段

(件)	件数(人)	徒歩	自転車	車(自分で運転)	車での送迎	バス	電車
広域連合全体	13,072	34.8	7.2	49.7	6.4	1.1	0.7
東海市	4,049	40.8	7.5	44.3	6.1	1.5	0.8
大府市	3,424	38.2	8.1	48.9	5.9	0.7	0.4
知多市	3,666	31.0	6.5	51.8	6.4	0.8	0.8
東浦町	1,933	23.7	6.0	58.0	8.0	1.4	0.6

よく利用する商店などについて [スーパー]

利用頻度



□ スーパーの利用頻度は、知多北部広域連合全体では、「週4回以上」は19.0%、「週2～3回」は41.1%、「週1回」は18.6%、「月1～3回」は10.3%、「年に数回」は3.3%、「利用していない」は2.6%となっている。

□ 自治体間で大きな差はみられず、どの自治体も週2～3回以上が4割を超えている。

□ 移動手段は、知多北部広域連合全体では、「車（自分で運転）」（61.9%）、「徒歩」（19.0%）、「車での送迎」（13.2%）の順で高くなっている。

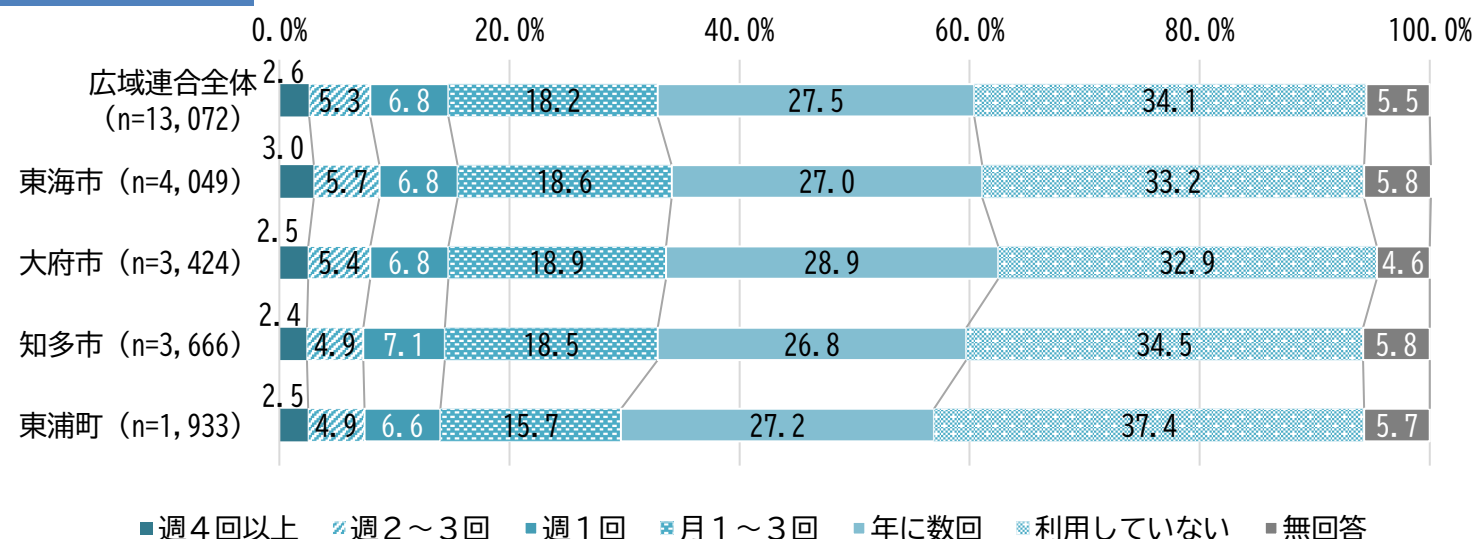
□ 各自治体ともに「車（自分で運転）」が5割を超えている。東海市では「徒歩」の割合が他の自治体より最も高く、「車（自分で運転）」が最も低くなっている。

移動手段

(件)	件数(人)	徒歩	自転車	車(自分で運転)	車での送迎	バス	電車
広域連合全体	13,072	19.0	8.8	61.9	13.2	2.2	0.7
東海市	4,049	21.3	10.1	57.8	14.0	2.9	0.6
大府市	3,424	16.9	9.3	63.5	13.2	1.6	0.4
知多市	3,666	18.5	7.5	63.9	12.9	1.8	0.9
東浦町	1,933	19.0	7.4	63.7	12.4	2.8	0.9

よく利用する商店などについて [喫茶店]

利用頻度



□ 喫茶店の利用頻度は、知多北部広域連合全体では、「週4回以上」は2.6%、「週2～3回」は5.3%、「週1回」は6.8%、「月1～3回」は18.2%、「年に数回」は27.5%、「利用していない」は34.1%となっている。

□ 各自治体ともに、週1回以上の利用は1割半ば、月1～3回以上の利用は2割前後となっている。一方、「利用していない」は各自治体とも3割を超えており、東浦町では4割弱となっている。

移動手段

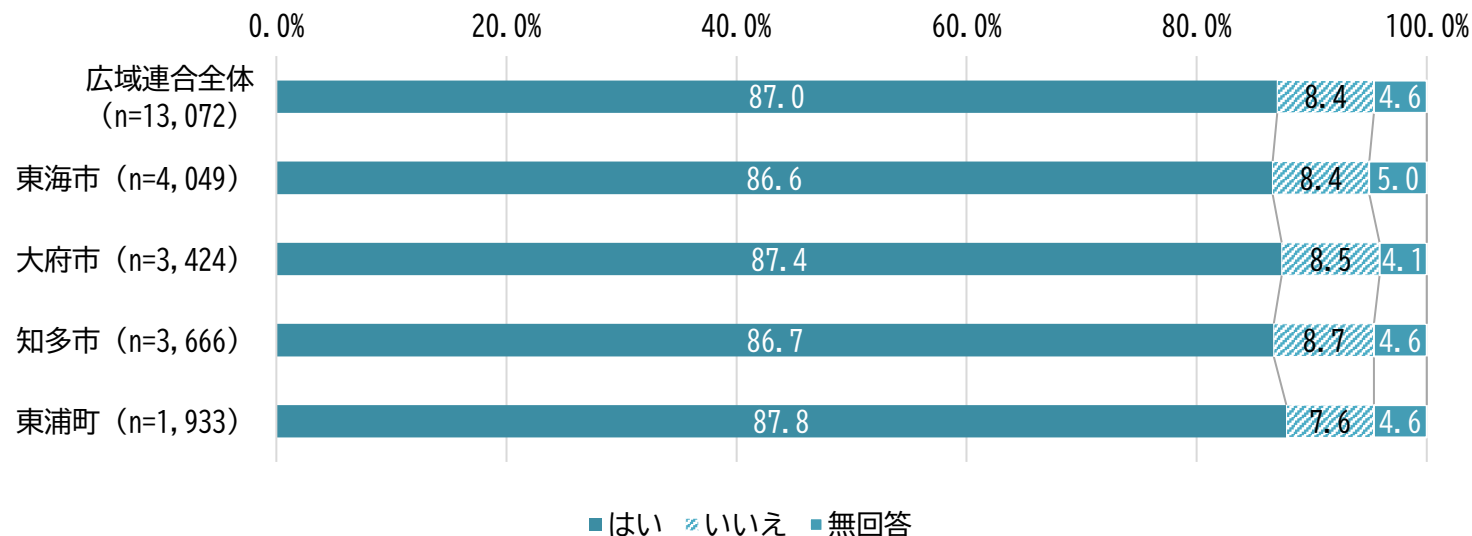
(件)	件数(人)	徒歩	自転車	車(自分で運転)	車での送迎	バス	電車
広域連合全体	13,072	10.7	3.1	41.0	11.0	1.0	1.4
東海市	4,049	12.8	3.3	38.6	11.8	1.4	1.4
大府市	3,424	11.2	3.8	42.4	10.6	0.7	1.3
知多市	3,666	9.0	2.4	42.1	11.4	0.8	1.5
東浦町	1,933	8.4	2.6	41.3	9.1	0.9	1.4

□ 移動手段は、知多北部広域連合全体では、「車(自分で運転)」(41.0%)、「徒歩」(12.8%)、「車での送迎」(11.0%)の順で高くなっている。

□ 各自治体ともに「車(自分で運転)」が最も高い。東海市では、「徒歩」の割合が他の自治体より最も高く、「車(自分で運転)」が最も低くなっている。

かかりつけ医について

かかりつけ医の有無



□ かかりつけ医の有無は、知多北部広域連合全体では、「はい」が 87.0%、「いいえ」が 8.4%となっている。

□ 自治体間で大きな差はみられない。

□ かかりつけ医の所属する医療機関は、知多北部広域連合全体では、「開業医」が 85.1%で最も高く、次いで「総合病院」が19.9%、「大学病院」が3.0%の順となっている。

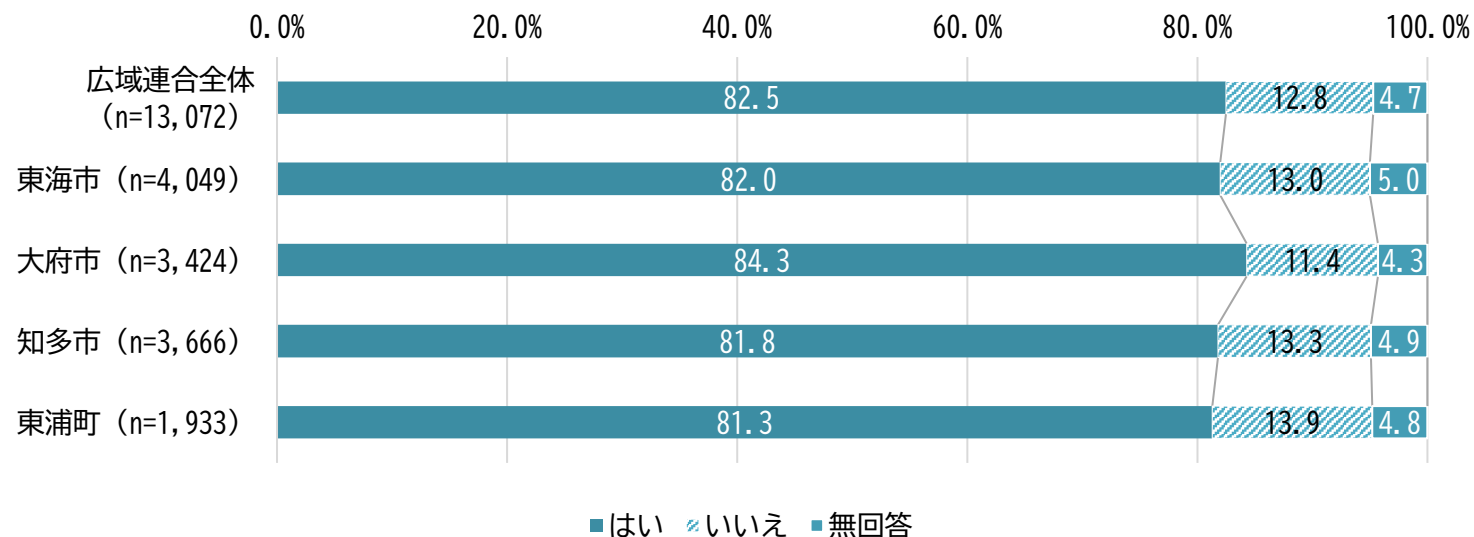
□ 各自治体ともに「開業医」が約 8 割以上であり、知多市と東浦町では 9 割弱となっている。

医療機関

(件)	件数 (人)	大学病院	総合病院	開業医	その他
広域連合全体	11,374	3.0	19.9	85.1	2.1
東海市	3,505	2.7	21.1	81.6	3.8
大府市	2,993	4.7	22.1	83.8	1.6
知多市	3,179	2.2	16.8	88.8	1.0
東浦町	1,697	1.8	19.2	88.1	1.6

かかりつけ歯科医について

かかりつけ歯科医の有無



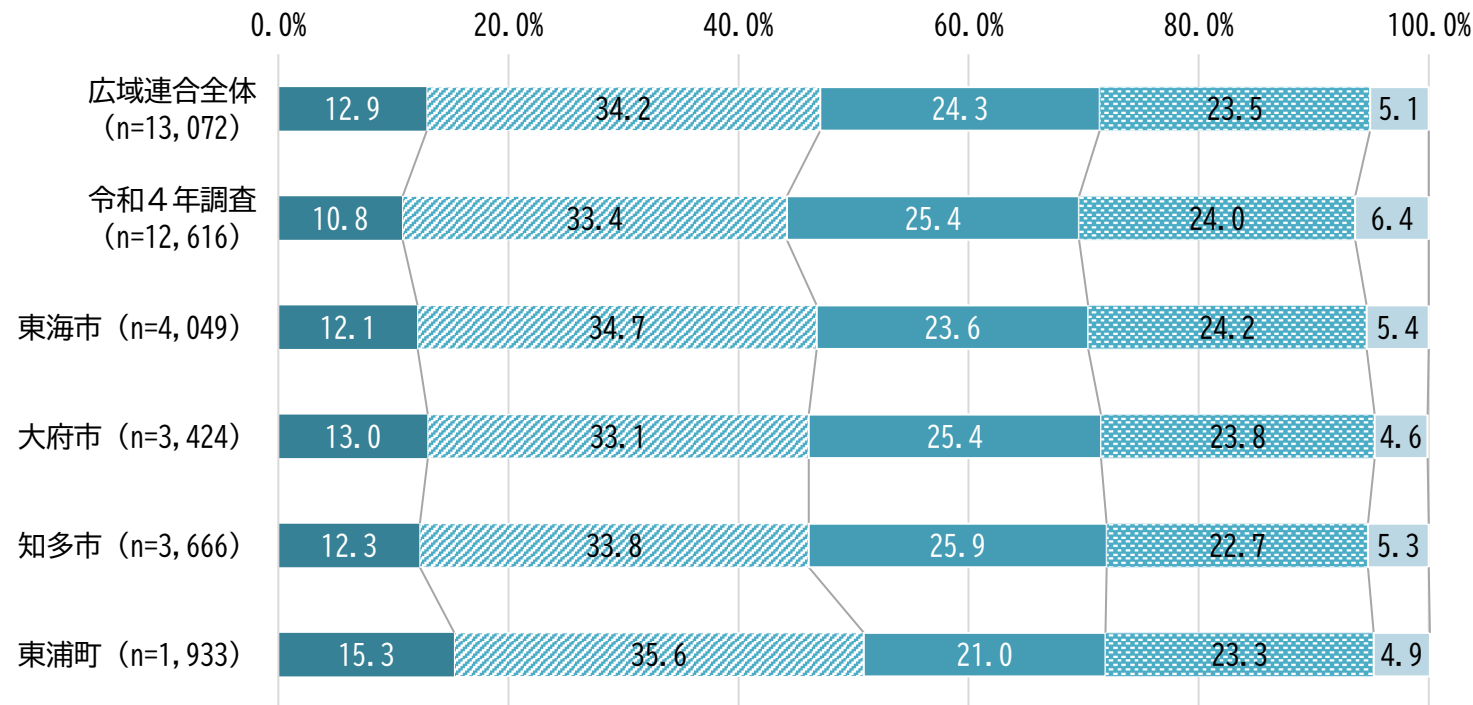
- かかりつけ歯科医の有無は、知多北部広域連合全体では、「はい」が 82.5%、「いいえ」が 12.8%となっている。
- 自治体間で大きな差はみられない。
- かかりつけ歯科医の所属する医療機関は、知多北部広域連合全体では、「開業医」が 96.6%で最も高くなっている。
- 各自治体ともに「開業医」が約 9 割以上となっている。

医療機関

(件)	件数(人)	大学病院	総合病院	開業医	その他
広域連合全体	10,779	0.3	1.8	96.6	0.8
東海市	3,322	0.2	1.7	96.3	1.0
大府市	2,888	0.3	1.9	97.3	0.2
知多市	2,998	0.2	1.4	96.4	0.9
東浦町	1,571	0.3	2.5	96.4	1.1

高齢者相談支援センター（地域包括支援センター）の認知度について （比較：計画書P65）

高齢者相談支援センター（地域包括支援センター）の認知度



- 利用したことがある
- ▨ 何をする所か（役割）知っているが、利用したことはない
- 名前は知っているが、何をしているのか（役割）は知らない
- ▨ 全く知らない
- 無回答

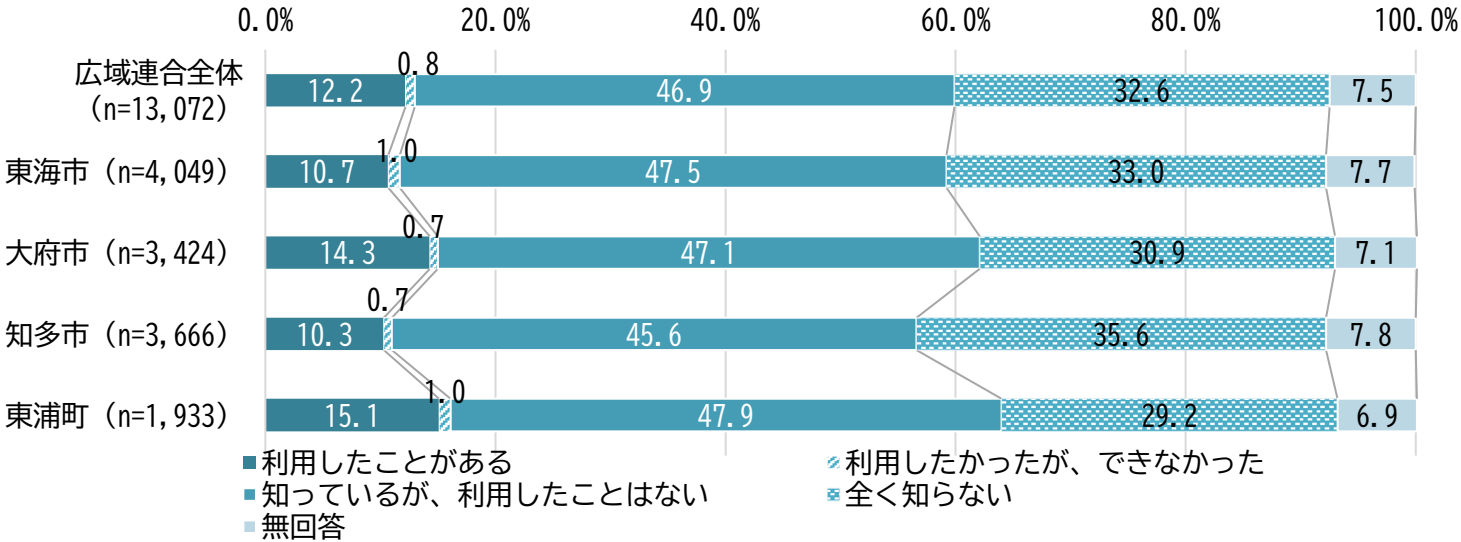
□ 高齢者相談支援センター（地域包括支援センター）の認知度は、知多北部広域連合全体では、「利用したことがある」は12.9%、「何をする所か（役割）知っているが、利用したことはない」は34.2%、「名前は知っているが、何をしているのか（役割）は知らない」は24.3%、「全く知らない」は23.5%となっている。

□ 計画書の数値（令和4年）と比較してみると、「全く知らない」は、0.5ポイント減少しており、「利用したことがある」は2.1ポイント増加している。「何をする所か（役割）知っているが、利用したことはない」は0.8ポイント増加している。

□ 各自治体ともに、「利用したことがある」「何をする所か（役割）知っているが、利用したことはない」を合わせると、4割を超えており、特に東浦町では5割を超えている。

介護予防事業について

認知度・利用経験



□ 介護予防事業の認知度・利用経験は、知多北部広域連合全体では、「利用したことがある」は12.2%、「利用しなかったが、できなかった」は0.8%、「知っているが、利用したことはない」は46.9%、「全く知らない」は32.6%となっている。

□ 各自治体ともに「利用したことがある」、「知っているが、利用したことはない」を合わせると6割前後となっており、「利用したことがある」は東浦町が最も高く、「全く知らない」は東浦町で最も低くなっている。

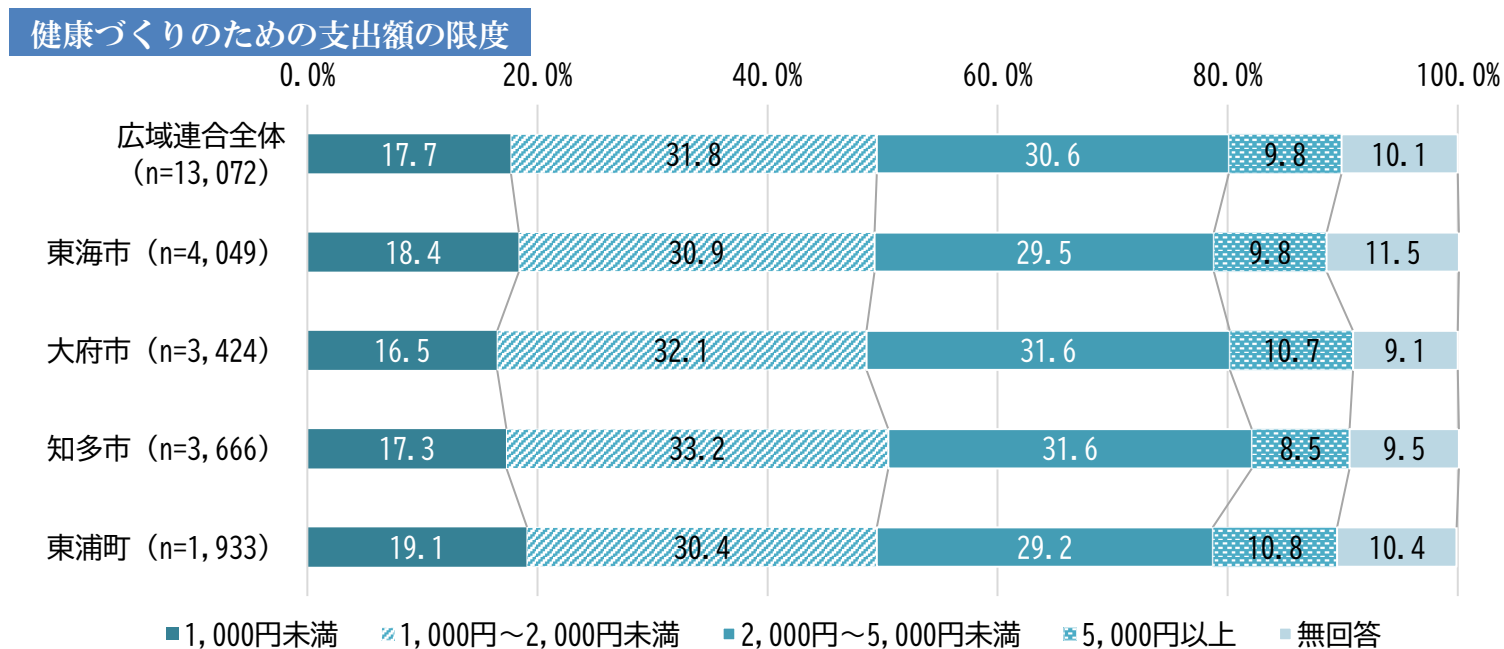
□ 利用したいと思う介護予防事業は、「家から近ければ」(27.0%)、「健康づくりはしていないが、自分はまだ元気なので必要ない」(26.9%)、「時間が合えば」(26.3%)、「内容が面白ければ」(20.5%)「効果があることがわかれば」(20.1%)の順で多くなっている。

□ 自治体間で大きな差はみられない。

利用したいと思う介護予防事業

(件)	件数(人)	内容が面白ければ	効果があることがわかれば	時間が合えば	家から近ければ	知り合いが一緒なら	移動手段(送迎)があれば	人と交流することがなければ	取り組んで健康づくりに必要ない	自分では健康づくりが必要ないが、健康づくりはしていないが、自分はまだ元気なので必要ない	どのようなものであっても利用したくない	その他
広域連合全体	10,505	21.1	20.1	26.3	27.0	8.3	11.6	2.3	18.0	26.9	3.8	6.4
東海市	3,302	20.8	19.9	25.8	27.7	8.6	12.7	2.2	18.4	25.5	4.2	6.8
大府市	2,693	20.9	19.9	27.5	26.1	6.8	9.9	2.5	16.7	29.1	3.5	5.9
知多市	3,001	21.6	20.0	24.7	27.6	9.3	12.2	2.1	19.5	26.5	3.3	5.5
東浦町	1,509	21.1	21.3	28.4	25.9	8.3	11.5	2.4	16.2	26.9	4.6	7.9

健康づくりのための支出額の限度について



- 健康づくりのための一か月の支出額の限度は、知多北部広域連合全体では、「1,000 円未満」は17.7%、「1,000 円～2,000 円未満」は31.8%、「2,000 円～5,000 円未満」は30.6%、「5,000 円以上」は9.8%となっている
- 自治体間で大きな差はみられず、2,000円未満が約5割を占めている。

情報の入手手段について

情報の入手手段

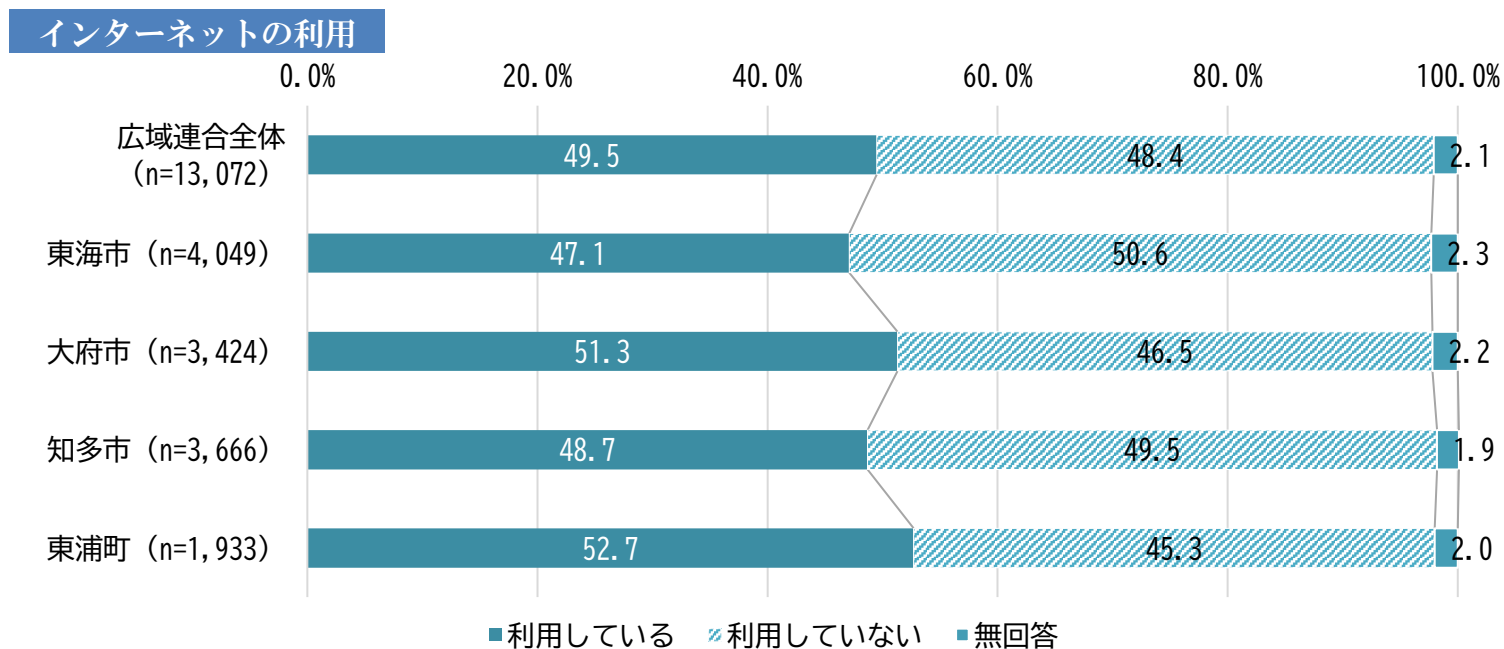
(件)	件数(人)	テレビ	新聞	ラジオ	本、雑誌	自治体広報誌
広域連合全体	13,072	88.5	72.9	22.4	24.8	41.1
東海市	4,049	88.7	72.2	21.9	24.5	39.9
大府市	3,424	88.6	74.4	22.8	25.0	44.2
知多市	3,666	88.5	73.3	22.8	24.6	39.7
東浦町	1,933	87.6	70.7	22.3	25.3	40.8
(件)	インターネット上のニュースサイトやホームページなど	ライン・インスタグラム・ツイッター・ユーチューブ等の利用者同士が交流できるインターネット上のサービス	家族	友人・知人	その他	
広域連合全体	34.5	16.7	52.8	51.2	2.3	
東海市	33.4	15.6	53.1	49.6	2.1	
大府市	35.3	16.3	54.9	51.2	2.0	
知多市	34.1	17.0	50.6	53.6	2.4	
東浦町	36.7	19.5	52.4	50.3	2.8	

□ 日常生活を送る上での情報の入手手段については、知多北部広域連合全体では、「テレビ」（88.5%）、「新聞」（72.9%）、「家族」（52.8%）、「友人・知人」（51.2%）の順で多くなっている。

□ また、「インターネット上のニュースサイトやホームページなど」は34.5%、「ライン・インスタグラム・ツイッター・ユーチューブ等の利用者同士が交流できるインターネット上のサービス」は16.7%となっている。

□ 自治体間で大きな差はみられない。

インターネットの利用について

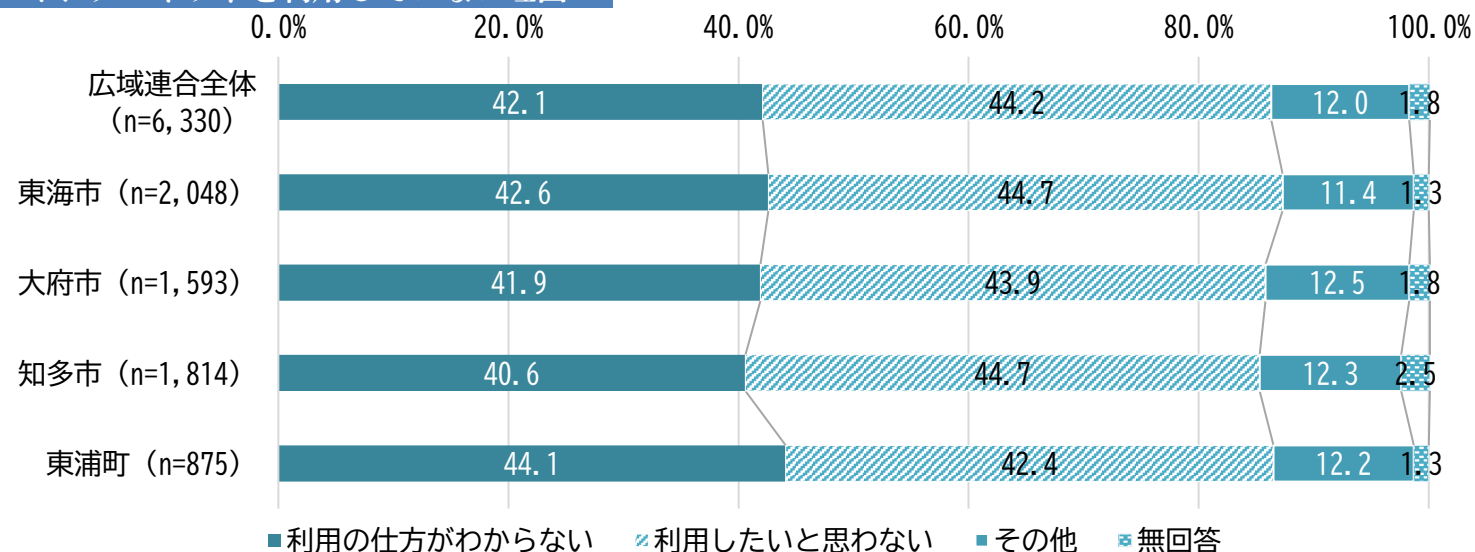


□ インターネットの利用については、知多北部広域連合全体では、「利用している」が 49.5%、「利用していない」が 48.4%となっている。

□ 大府市、東浦町では「利用している」の割合の方が高く、東海市、知多市では「利用していない」の割合の方が高くなっている。

インターネットの利用について

インターネットを利用していない理由



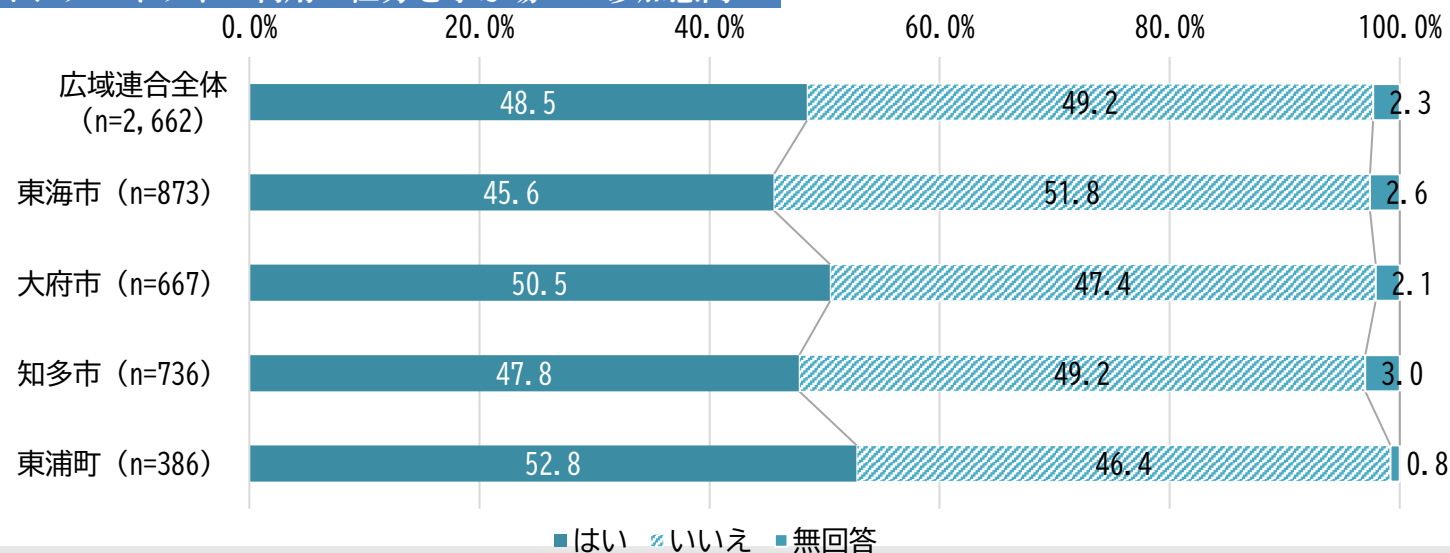
□ インターネットを利用していない理由については、知多北部広域連合全体では、「利用の仕方がわからない」は42.1%、「利用したいと思わない」は44.2%となっている。

□ 東浦町では「利用の仕方がわからない」の割合の方が、東海市、大府市、知多市では「利用したいと思わない」の割合の方が高くなっている。

□ インターネットの利用の仕方を学ぶ場への参加意向については、知多北部広域連合全体では、「はい」が48.5%、「いいえ」が49.2%となっている。

□ 大府市、東浦町では「はい」がともに5割を超えている。

インターネットの利用の仕方を学ぶ場への参加意向



■ はい ■ いいえ ■ 無回答